

市政モニターへのユニバーサルデザインに関するアンケート結果

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日ごろ感じていることや意見、提言等を伺い、今後の取組の参考とする。

【実施期間】 平成 29 年 7 月 18 日～8 月 18 日

【対象者数】 市政モニター 101 名

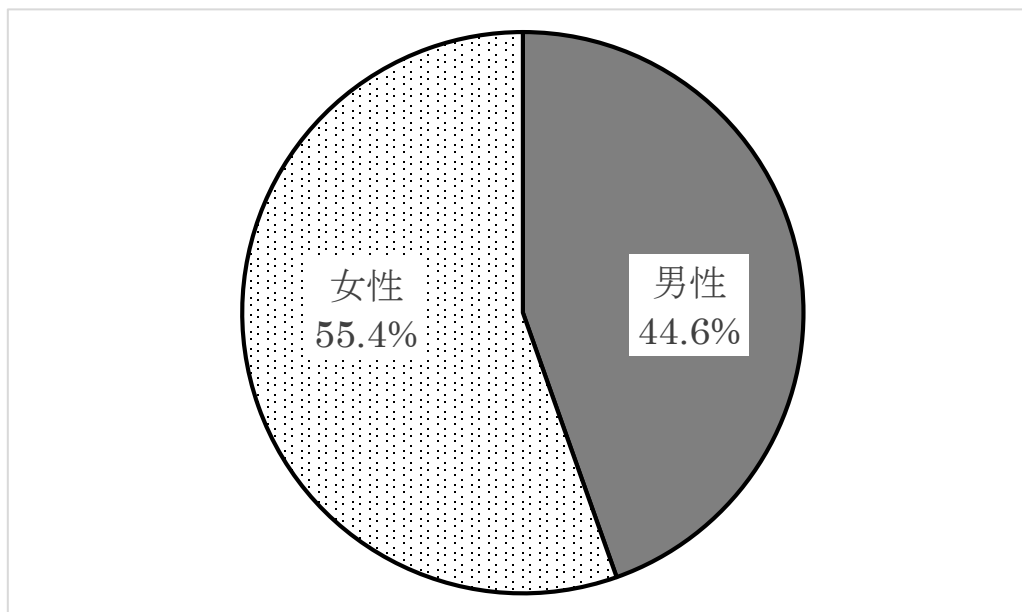
【回答者数】 83 名（回答率 82.2%）

【回答者の属性】

■性別

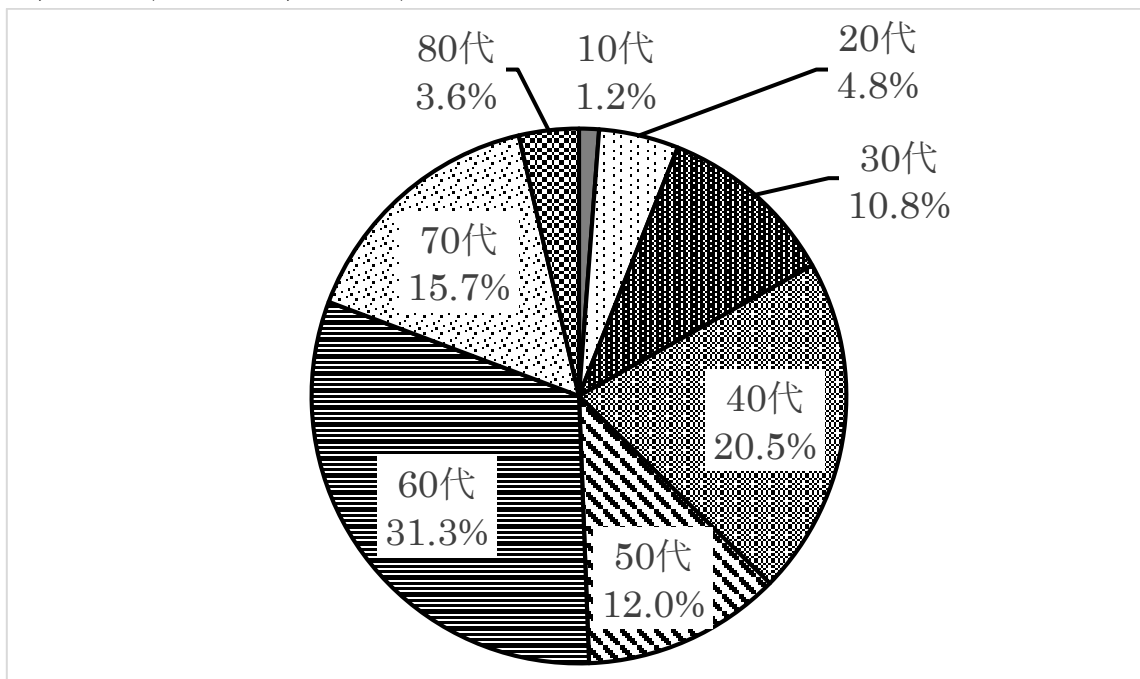
男性 44.6%

女性 55.4%



■年代

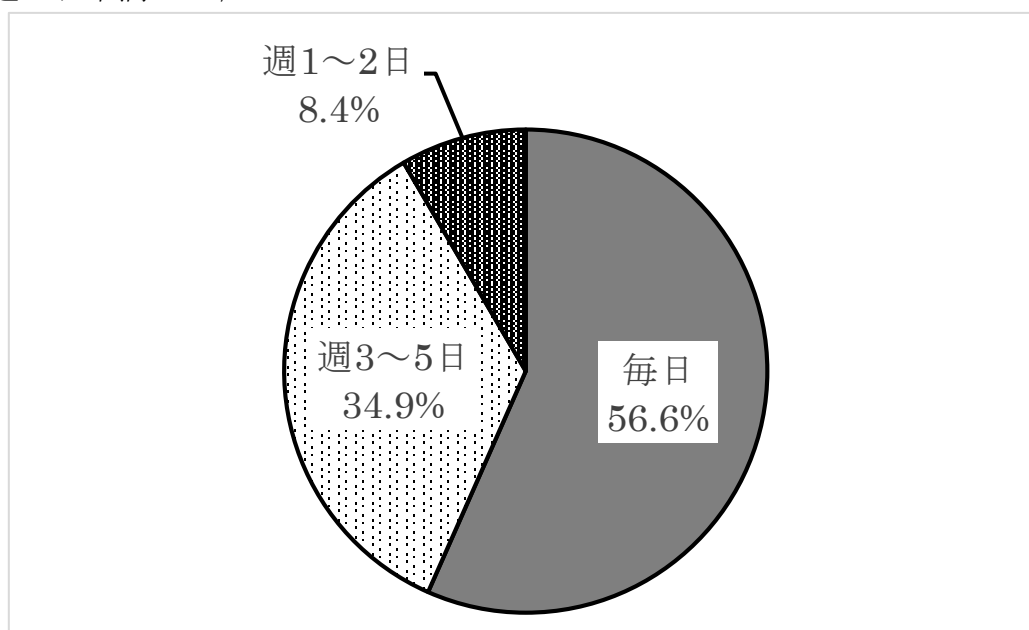
10代	1.2%	20代	4.8%
30代	10.8%	40代	20.5%
50代	12.0%	60代	31.3%
70代	15.7%	80代	3.6%



問1：あなたの氏名をご記入ください（省略）

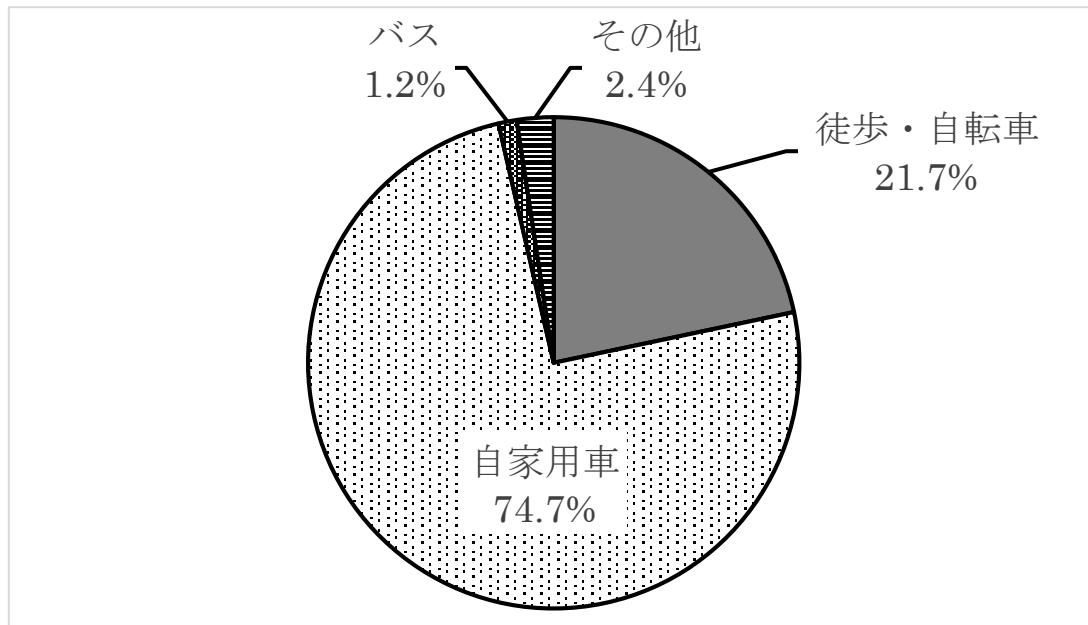
問2：あなたの外出頻度を教えてください。

1. 毎日 56.6%
2. 週3～5日 34.9%
3. 週1～2日 8.4%
4. 週1日未満 0%

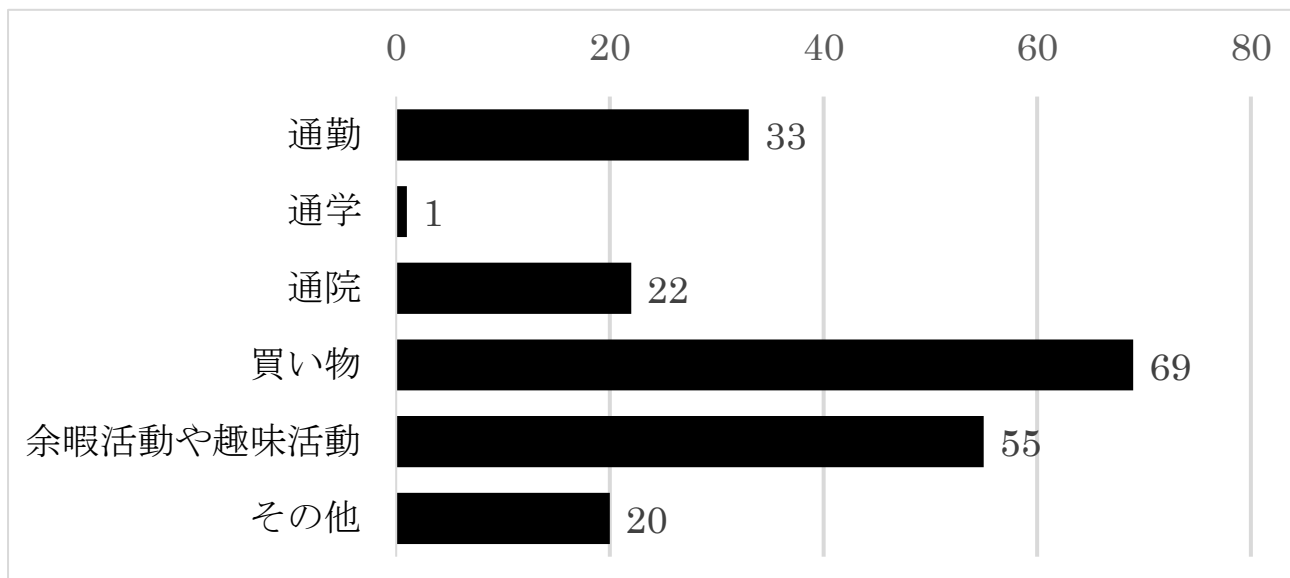


問3：あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通機関を教えてください。

- | | | | |
|-----------|-------|---------|-------|
| 1. 徒歩・自転車 | 21.7% | 2. 自家用車 | 74.7% |
| 3. バス | 1.2% | 4. 電車 | 0% |
| 5. タクシー | 0% | 6. その他 | 2.4% |

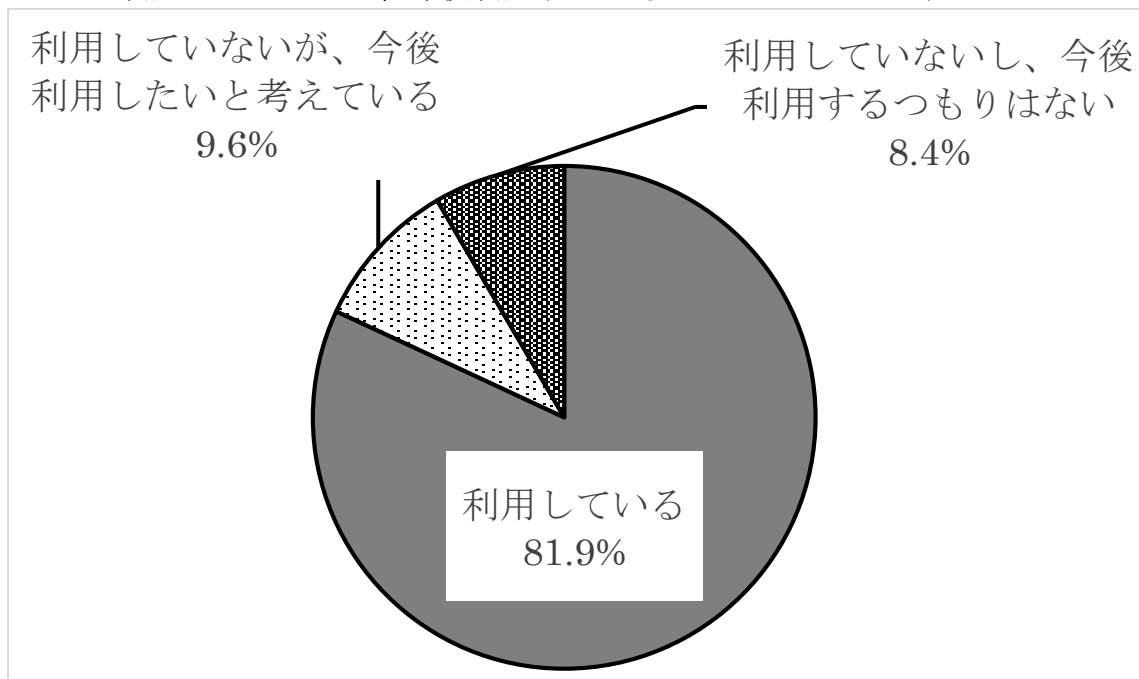


問3-1：問3で回答した内容はどのような目的で利用しているか教えてください。
(複数回答可)

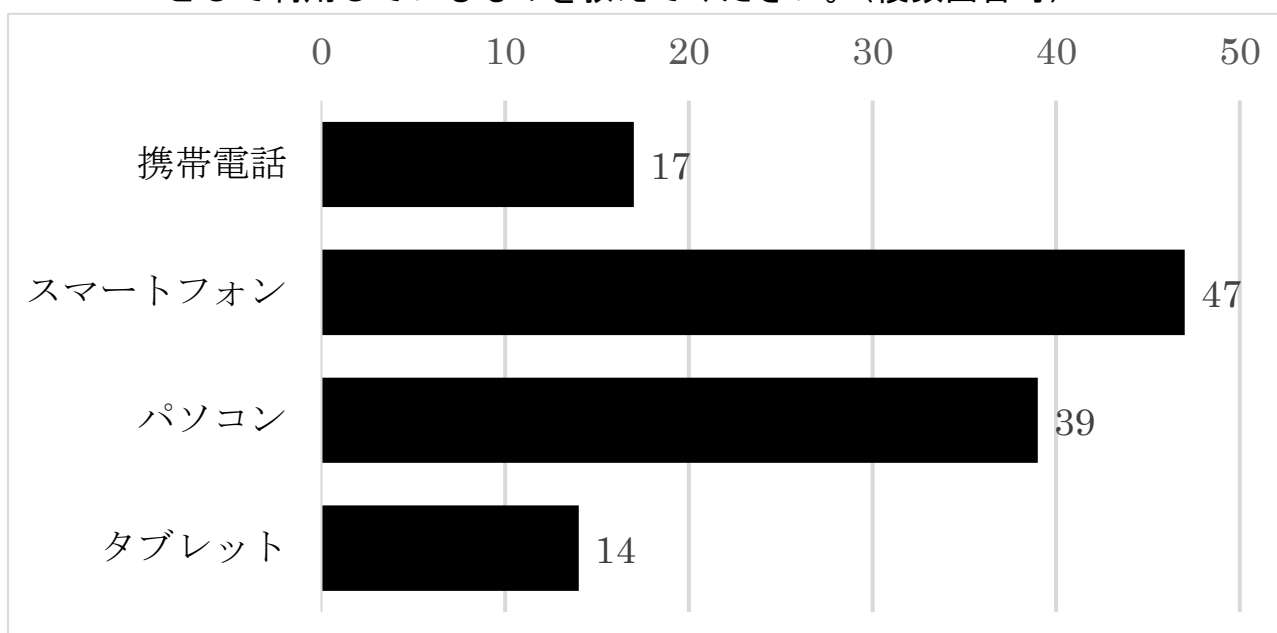


問4：情報収集の手段として携帯電話やスマートフォンなどを利用していますか。

- 1. 利用している 81.9%
- 2. 利用していないが、今後利用したいと考えている 9.6%
- 3. 利用していないし、今後利用するつもりはない 8.4%



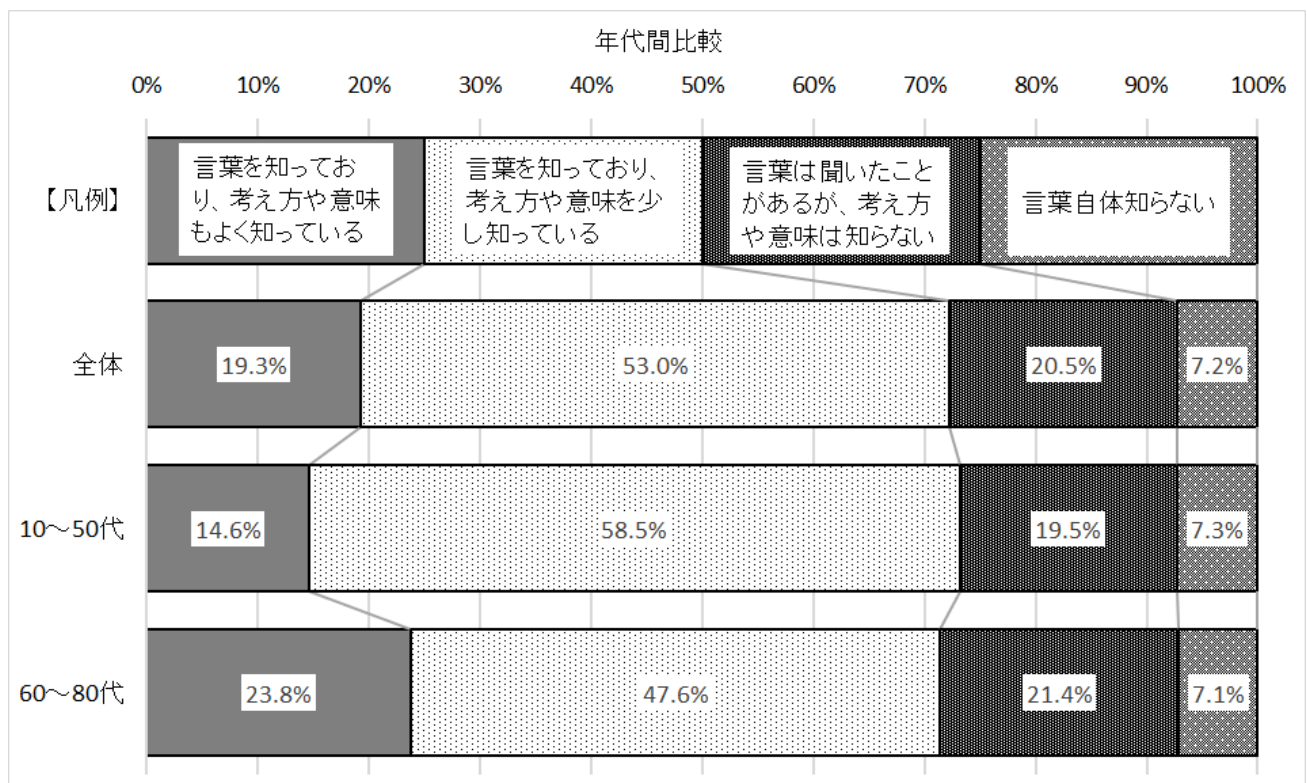
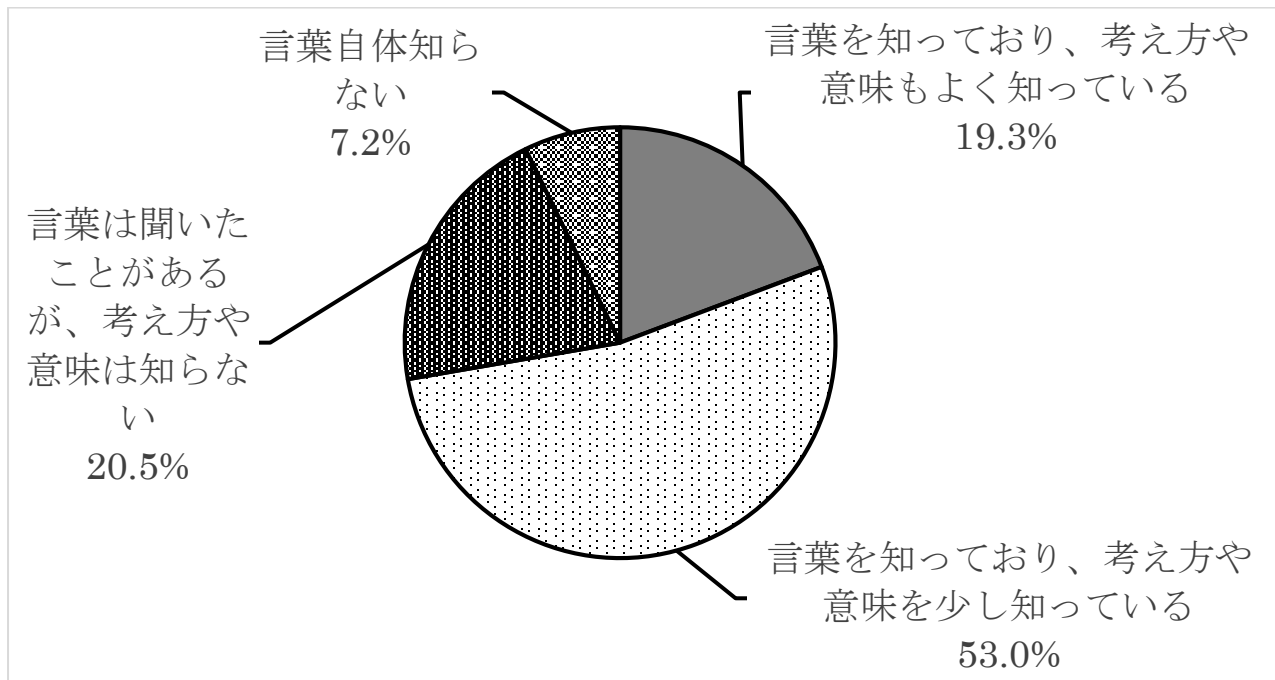
問4-1：問4で「1. 利用している」と回答した方に伺います。現在情報収集手段として利用しているものを教えてください。（複数回答可）



2. ユニバーサルデザインについて伺います

問5：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。

1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている 19.3%
2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている 53.0%
3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味はあまり知らない 20.5%
4. 言葉自体知らない 7.2%

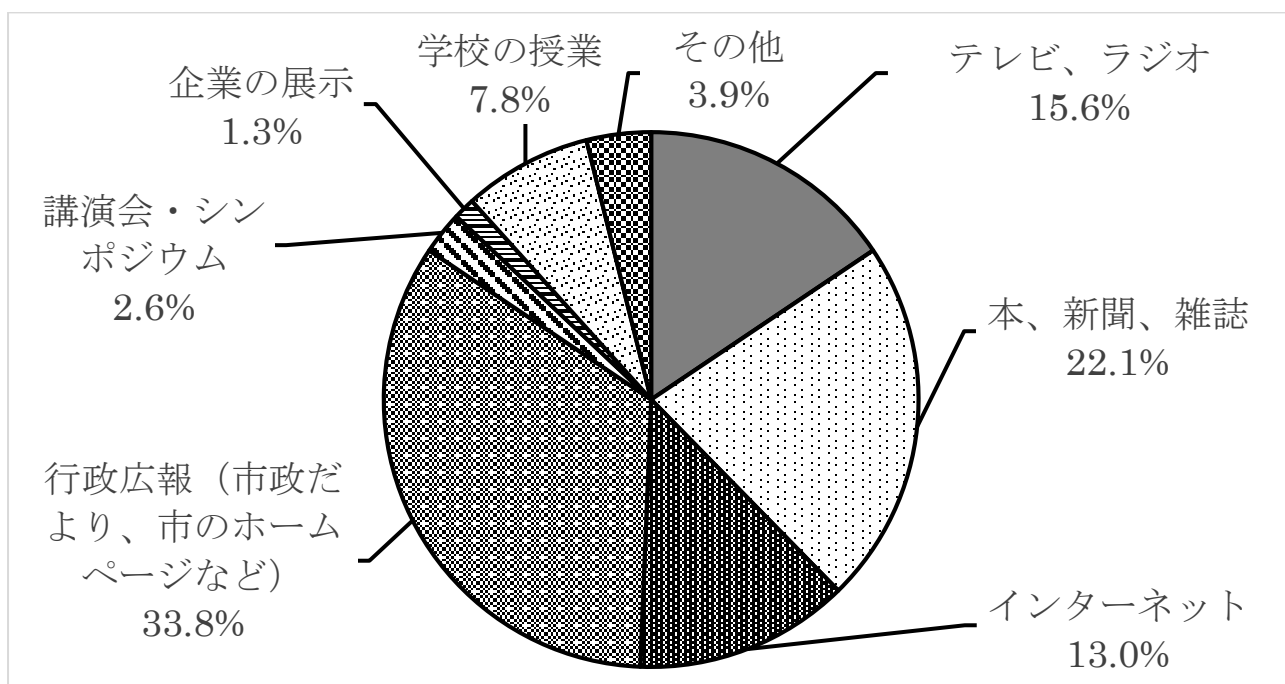


問5-1：問5で「1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」、「2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」、「3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。

1. テレビ、ラジオ	15.6%
2. 本、新聞、雑誌	22.1%
3. インターネット	13.0%
4. 行政広報（市政だより、市のホームページなど）	33.8%
5. 講演会・シンポジウム	2.6%
6. 企業の展示	1.3%
7. 学校の授業	7.8%
8. その他	3.9%

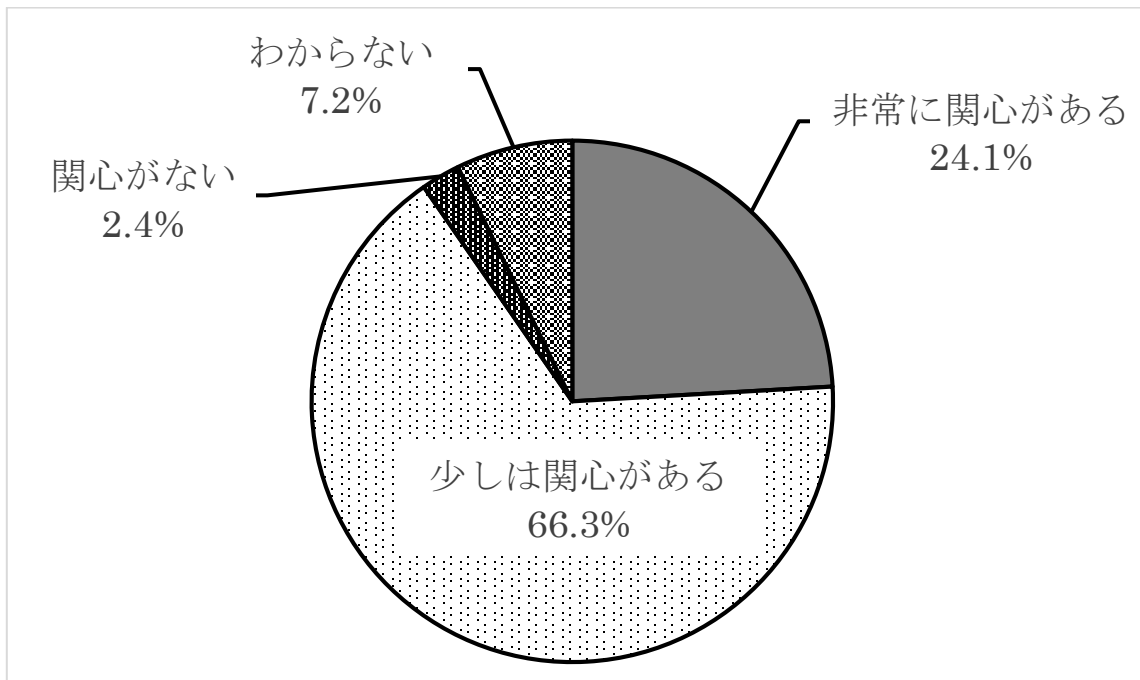
【その他の内容】

- ・「県発注業務の要求事項」
- ・「複数の友人がユニバーサルデザインに取り組んでいて時々話を聞く」
- ・「仕事にて」



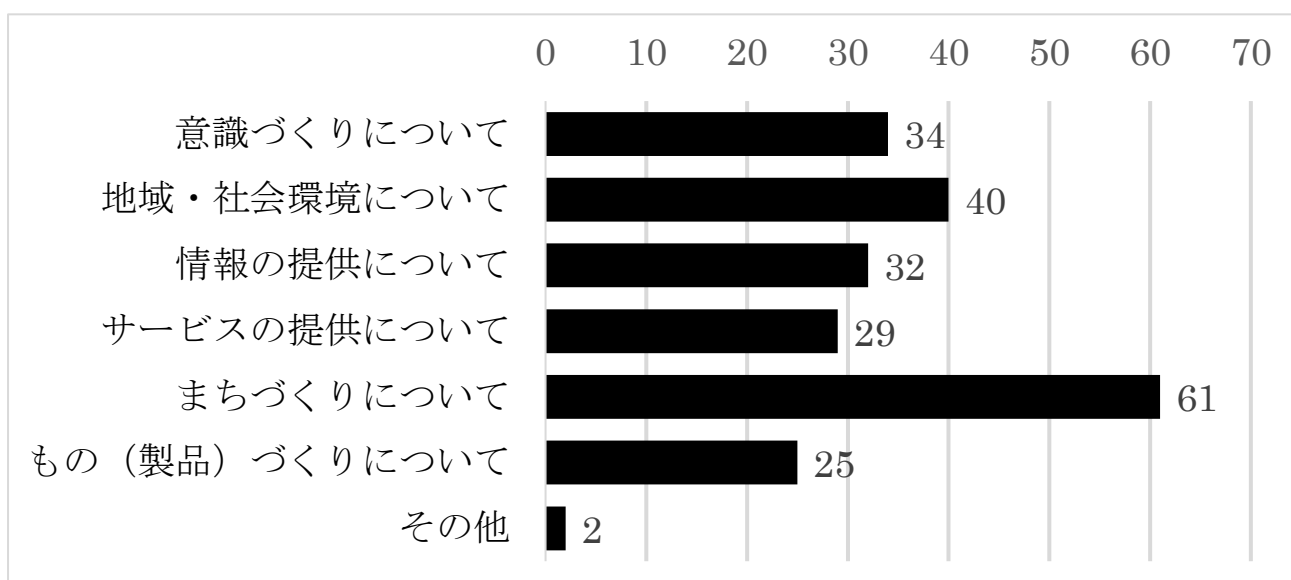
問6：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心をお持ちですか。

- 1. 非常に興味がある 24.1%
- 2. 少しは興味がある 66.3%
- 3. 興味がない 2.4%
- 4. わからない 7.2%



問6-1：問6で「1. 非常に興味がある」「2. 少しは興味がある」と回答した方に伺います。あなたが関心のある「ユニバーサルデザイン」は何ですか。

分野	内容
意識づくりについて	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場、防犯・防災など
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの（製品）づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など

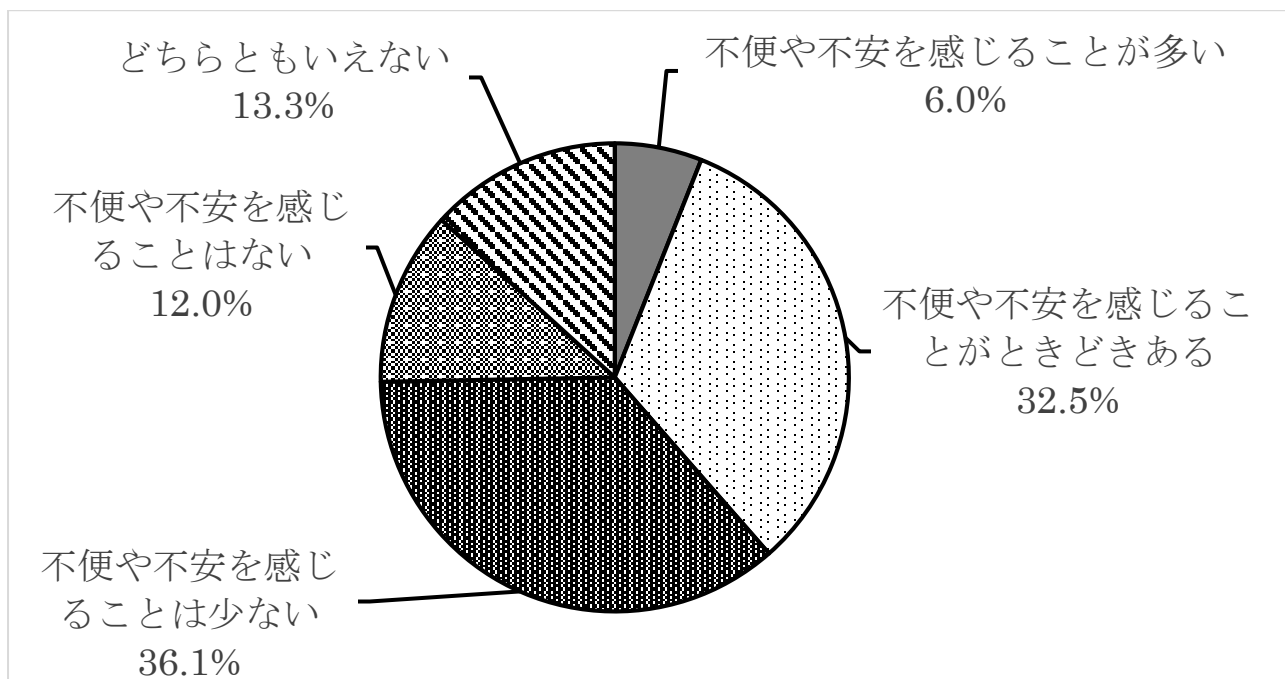


【その他の内容】

- ・人間の心と意識づけ。
- ・維新 150 周年まちづくりにむけ、公共施設のわが市のユニバーサルデザインの実情等を掲示する。市民や観光客の皆様にも知ってもらいたい。今回大飛躍のチャンスである。前向きなとりくみを切望します。

問7：あなたが日常生活や社会生活を送るうえで、ユニバーサルデザインの観点から、不便や不安などを感じていることはありますか。

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 不便や不安を感じる事が多い | 6.0% |
| 2. 不便や不安を感じる事がときどきある | 32.5% |
| 3. 不便や不安を感じる事は少ない | 36.1% |
| 4. 不便や不安を感じることはない | 12.0% |
| 5. どちらともいえない | 13.3% |



問7-1：問7で「1. 感じる事が多い」「2. 感じる事がときどきある」と回答した方に伺います。具体的にどんなことで不便や不安を感じますか。

年代	性別	回答
30代	男性	・階段ほどではない、ちょっとした段差がある道路や施設は意外と健常者でも危険を感じることがあります。
30代	女性	・歩道の段差 ・子供がいるのでオムツ替のあるトイレに目がつくようになったので、わかりやすく表示されているか、あらゆる場所に設置しきれいを保って欲しい
40代	男性	・市内道路の一方通行について、観光客にはわかりにくく、間違ってしまうことがある。 ・歩道の幅が狭かったり自転車専用道路が少ないところ。
40代	女性	・大きい道路に右折レーンがないとき ・情報の提供に関しては、会津プラスのサイトに申し込もうとした際、

年代	性別	回答
		手続きがうまくいかず、断念しました。40代の私でもこうなら、高齢者は難しいと思う。
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の対応、道路の案内
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の段差、狭さ。 ・道路を通行する時 ・病気のため仕事を今年の二月に辞めて、療養しています。杖を使用していますが、ちょっと歩いただけでも疲労が激しい状態です。今は、家族の世話になって、なんとか生活をしてはいますが、これからのことが不安です。(医療費など経済的なこと、介護用品やヘルパーさんを使用することになったとき、受けづらいのではないかと) ・行政の手続等、理解しにくい人達への案内 ・自転車専用車線を作してほしい。
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、集中豪雨等で自分の地域が、現在の置かれている立場を考えたとき、どのレベルにおかれているかの情報が、伝わりにくいかんじているので不安を感じる。スマートフォン等での情報提供が、あるのは、聞いているが、現在のところ用意する予定は、無い。 ・超高齢化社会に入り、人口減少が著しい社会に向かっている会津地域の中心都市である会津若松市を概観したとき、次の点に不便や不安を感じる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 会津の精神である「什の掟」にある「年長者と尊う心」や「弱い者への配慮する心」があまり受け継がれていない。→青少年や若年成人の精神文化の希薄さに不安を感じる。 2. 会津若松市の社会インフラの30年後の交通事業を考えたとき、観光都市としての道路や環境整備、シニアカー等の高齢者の交通手段の確保が必要であるが、市民レベルには伝わっていない。そのため、交通弱者に配慮した交通対策を行政としてアピールすべきである。 ・交通手段について、今はほとんど自家用車を使用しているが、運転ができなくなった時の交通手段が心配である ・自宅周辺の除草、市道の法面の除草をしているが、できなくなった時心配 ・小さな文字が見づらくなってきていて不便を感じる ・障がい者には不便なことが多いだろうと思う ・個人をだいにしていけないとき
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の段差、傾斜のある歩道、整備されていない凸凹のある通路に転倒の不安を感じる ・車に乗れなくなったときの交通手段 ・若者が減少し超高齢化がすすむ中で医療や介護の財源と人材不足 ・食料品のビン、缶詰のあけるものへの不安や新製品の利用についての

年代	性別	回答
		理解
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩車道の段差等 ・道路の側溝が蓋が無いところが多く、つまづいた時不安を感じます。 ・公衆トイレが街中にほとんど無くウォーキング時などは不便です。 ・団塊世代が全員後期高齢者となる、2025年地域の問題は地域で解決していくためには、会津若松市及び各種団体との連携がより必要となってくる、そして具体的な施策を早急に検討しなくてはならない ・高速バスの停留所の時刻表は、会津若松駅は記入されていたが自分の来た所では記入されていなかったのが不安を感じた。帰りは郡山市内では全部記入されていた ・これから先、交通便（乗合バスの駐車場などが少なくダイヤが少ない）や暮らしなどが苦しくなってくる ・行政の窓口でもっと簡素化にはできないものか ・子どもや障がい者、高齢者の集まる場所や車いすでの走行する道路の整備など ・高齢者に対する面が充実していない。（特に情報提供等であるが、他の市町村も参考にしてもらいたい） ・観光客は困っている人に一声掛けられない地域を知らない住民多し （a：地域別笑顔ステキ人を選んで、地域好的人に育てられる）
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・病院等での案内板が少なく、混んでいてわかりづらい ・パンフレットの字が小さかったりして見づらい ・冬場（歩道に雪が積もって歩く時車道を歩かなくてはならない、これは危険） ・段差、暗い照明、開けにくい瓶のふた・食料品のパウチ
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行の際、自転車道が整備されていない道路が多い。城下町特有の理由もあると思いますが、少しずつ改善を望みます
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの回数が少なく困っています ・まずはわが家。バリアフリーを取り入れたり、トイレ改善したりの方で努力中です。老老介護にむけて様々な点に考慮すべきだと痛感しています。そして社会生活、特に地域社会での日常生活で、段差や工事後の地面のデコボコは困ります。

3. 生活や社会でのユニバーサルデザインについて伺います

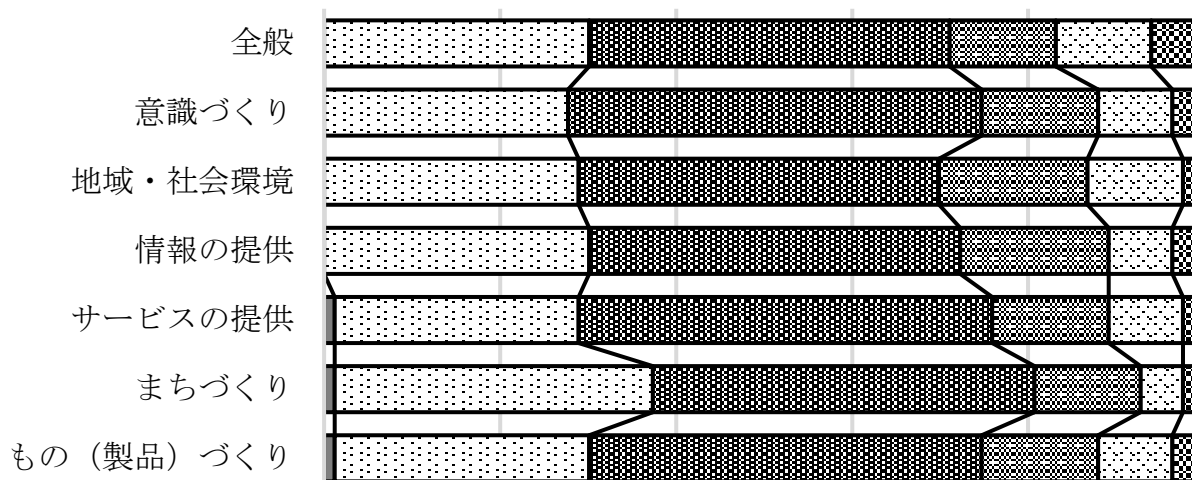
問8：あなたは日常生活や社会生活の全般について、どの程度ユニバーサルデザインが浸透していると思いますか。

問9：次に、以下のそれぞれの項目ごとに、どの程度ユニバーサルデザインが浸透していると思いますか。

項目	内容
意識づくりについて	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場、防犯・防災など
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの（製品）づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など

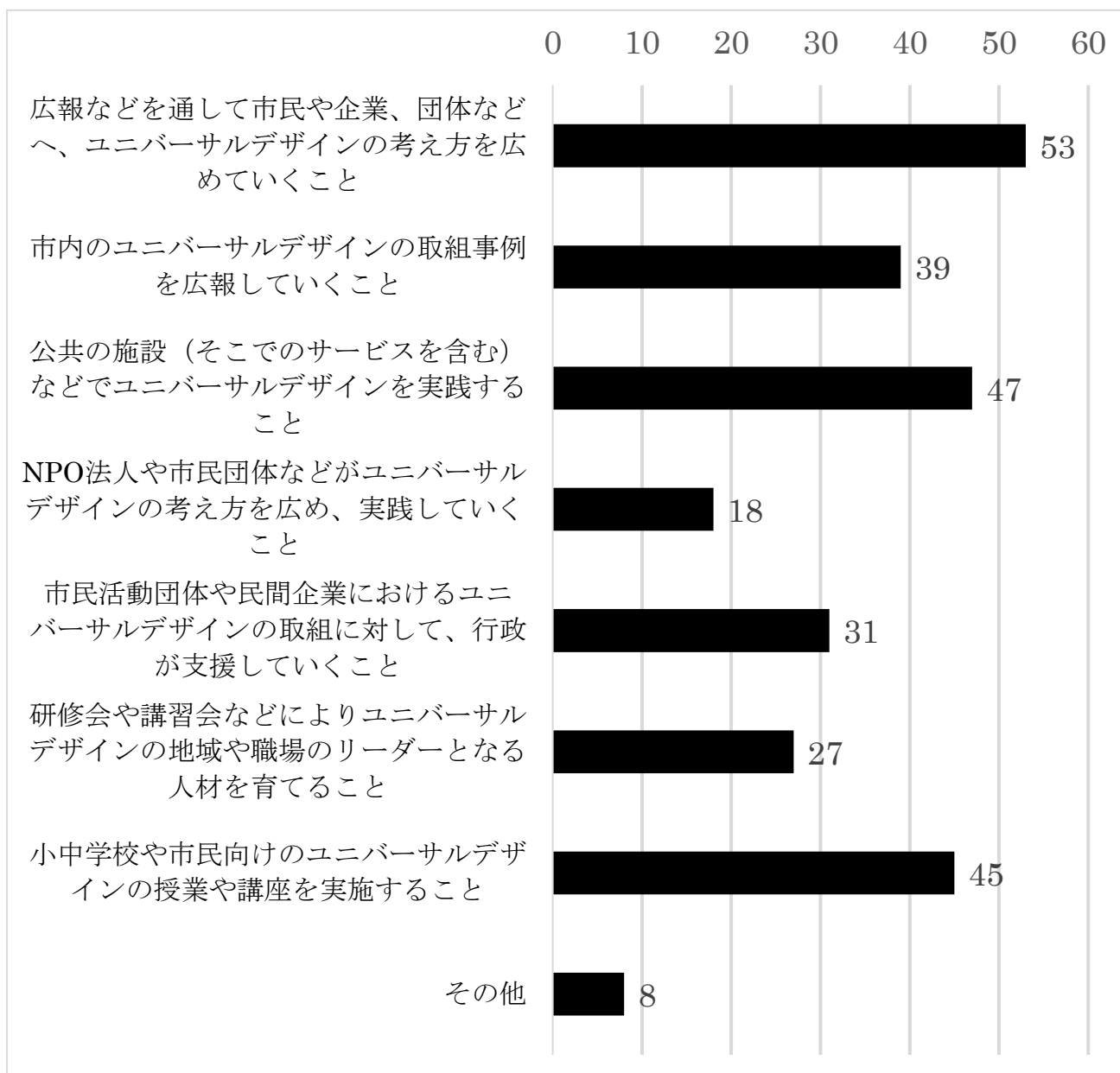
十分浸透している まあまあ浸透している あまり浸透していない
 ほとんど浸透していない どちらともいえない わからない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



	十分浸透している	まあまあ浸透している	あまり浸透していない	ほとんど浸透していない	どちらともいえない	わからない
全般	0.0%	30.1%	41.0%	12.0%	10.8%	6.0%
意識づくり	0.0%	27.7%	47.0%	13.3%	8.4%	3.6%
地域・社会環境	0.0%	28.9%	41.0%	16.9%	10.8%	2.4%
情報の提供	0.0%	30.1%	42.2%	16.9%	7.2%	3.6%
サービスの提供	1.2%	27.7%	47.0%	13.3%	8.4%	2.4%
まちづくり	1.2%	36.1%	43.4%	12.0%	4.8%	2.4%
もの（製品）づくり	1.2%	28.9%	44.6%	13.3%	8.4%	3.6%

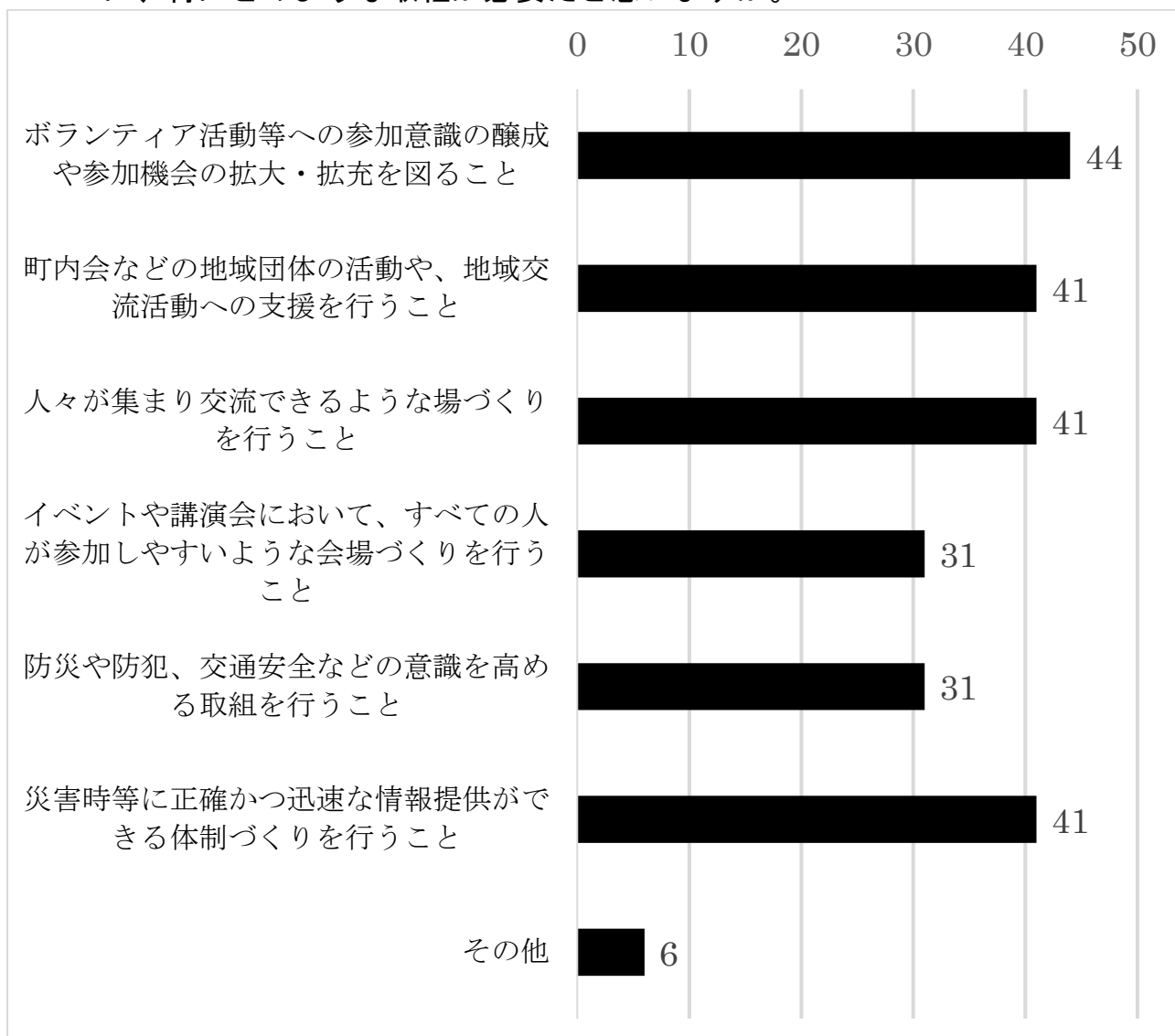
問 10：ユニバーサルデザインの「意識づくり」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。



【その他の内容】

- ・市民にユニバーサルデザインの必要な事項について具体的な提案を募集し、審査する。
- ・障がい者や高齢者に生の声を聞き、実践する
- ・特に2の市内のユニバーサルデザインの取組を広報誌で知ってもらうこと
- ・一方的に押し付けるのではなく、一緒に作る形にすること
- ・個人個人をだいにする教育や社会の仕組み・考え方
- ・利用する人の身になって作ること。作成者本位ではだめ
- ・選挙と同じで興味のある人だけで頑張ってもあまり意味がない。興味のない人も振り向かせることが課題
- ・研修会などに地域リーダーに参加しないと意識が向上しないから

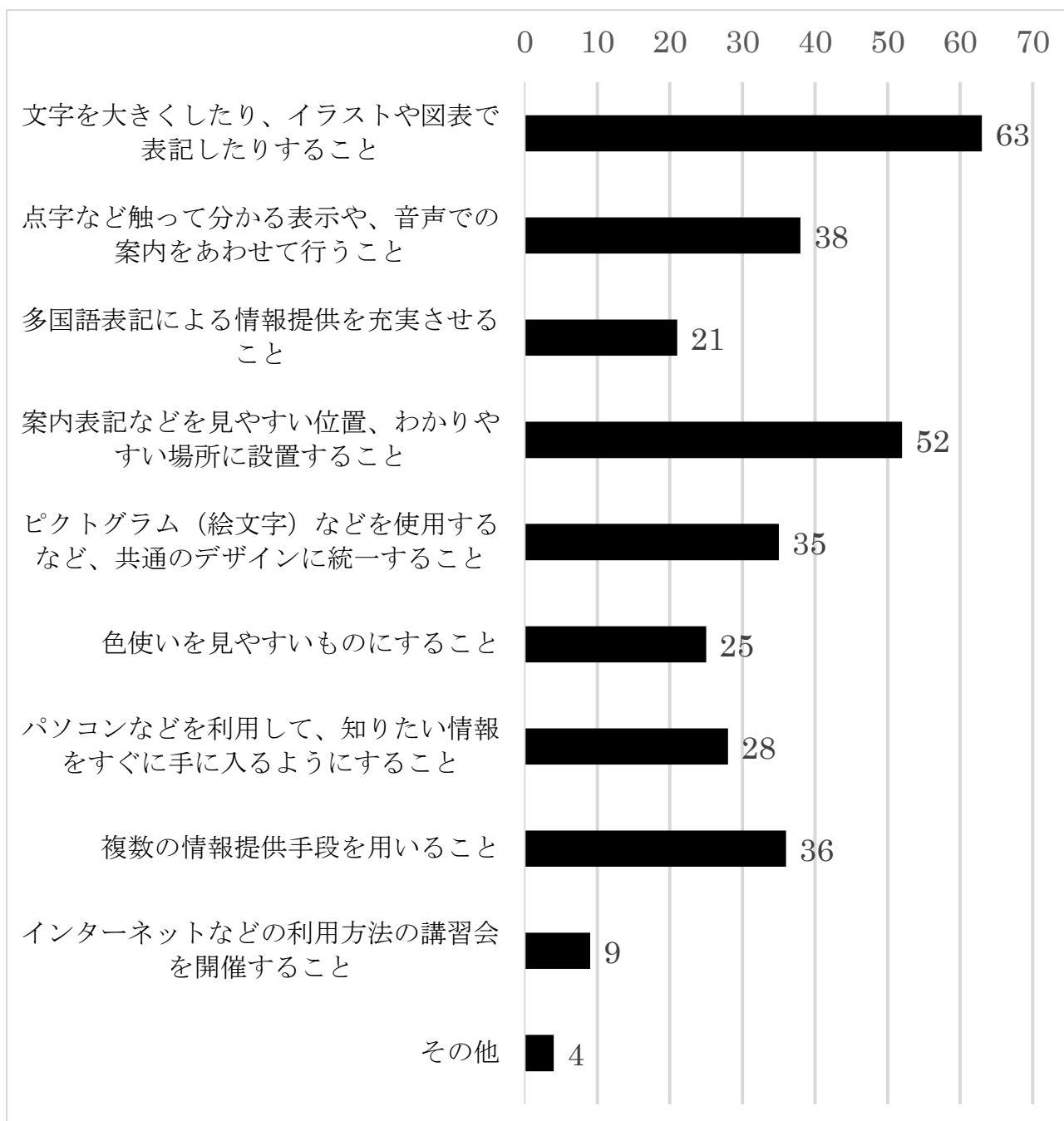
問 11：みんなが支え合い、安心して生活できる「社会・環境づくり」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。



【その他の内容】

- ・市役所が主導で1項、2項などについて、区長会、社協、老人会、ボランティア団体、環境団体などで組織を作り、総合的に具体的に将来のビジョンを検討し、出来ることから実践し、住みよい、住みたい会津若松市の街づくりを推進する。
- ・グループ討議でいろんな人の意見を聞いてみてはどうか。生活にゆとりを持てるような状況作りも必要
- ・本市の表彰規定をつくり、年1回表彰する
- ・相手の気持ちをくむこと
- ・それぞれが安心して生活したいと思うかが重要であり、思わなければ先へは進まない
- ・災害が少ない市なので、住民が困ってる人と交流が出来ないので安心安全を行政まかせにしているの、災害ボランティアを参加意識の義務化位にする

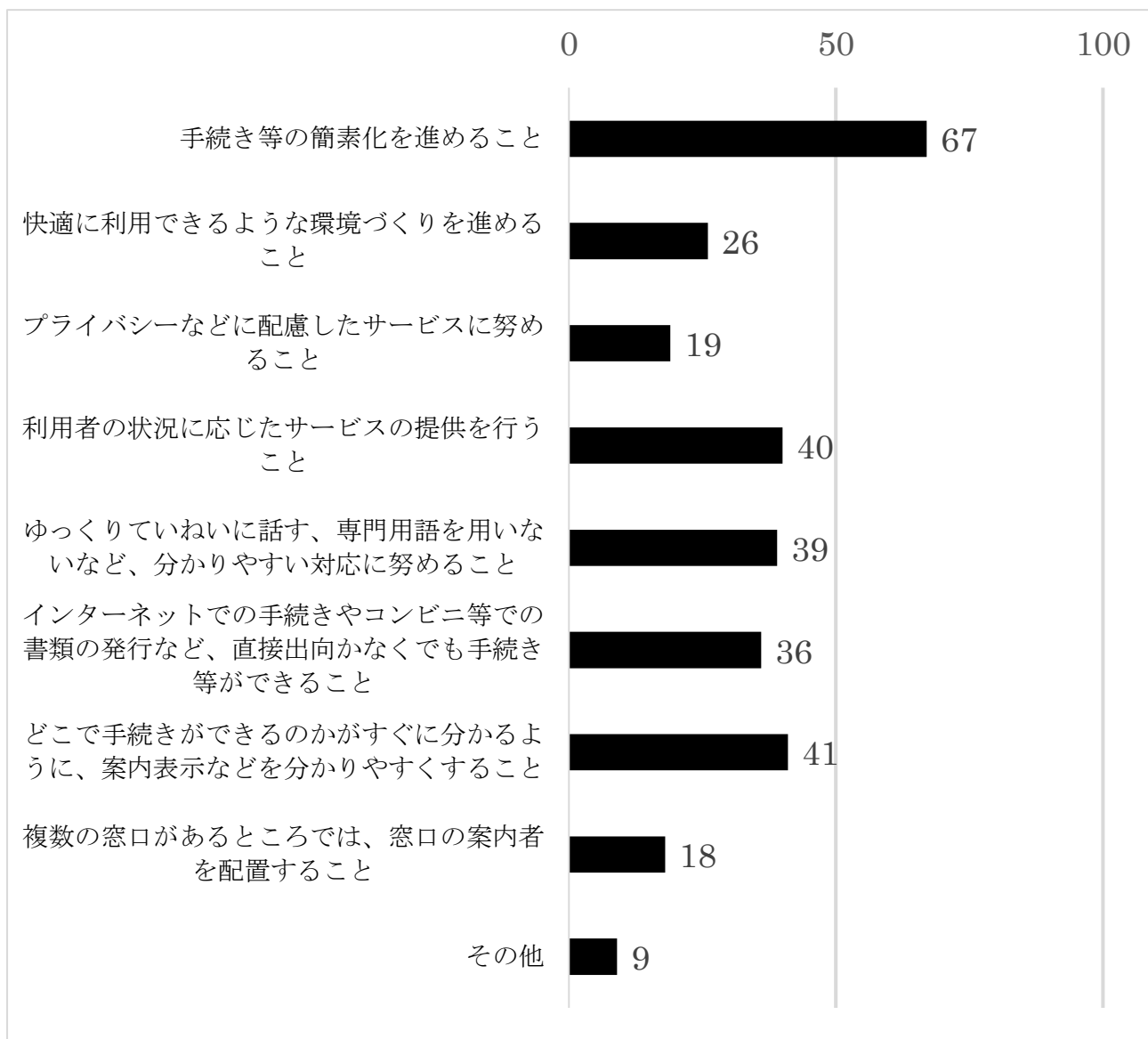
問 12：誰にでも分かりやすく、必要なときにすぐに得られる「情報提供」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。



【その他の内容】

- ・重要な情報（気象情報等）は夜間でも市民・観光客等に周知できる電光表示盤を主要な箇所に設置する。
- ・高齢者はパソコンも使用できない人が多いと思われる。この人に聞けばわかるような人を配置してはどうか
- ・情報をほしいと思っているかが問題である
- ・多人数の集まる所、掲示板にポスター張りにする。広報誌はみんな読まないなので、必要な場所などは効果がある

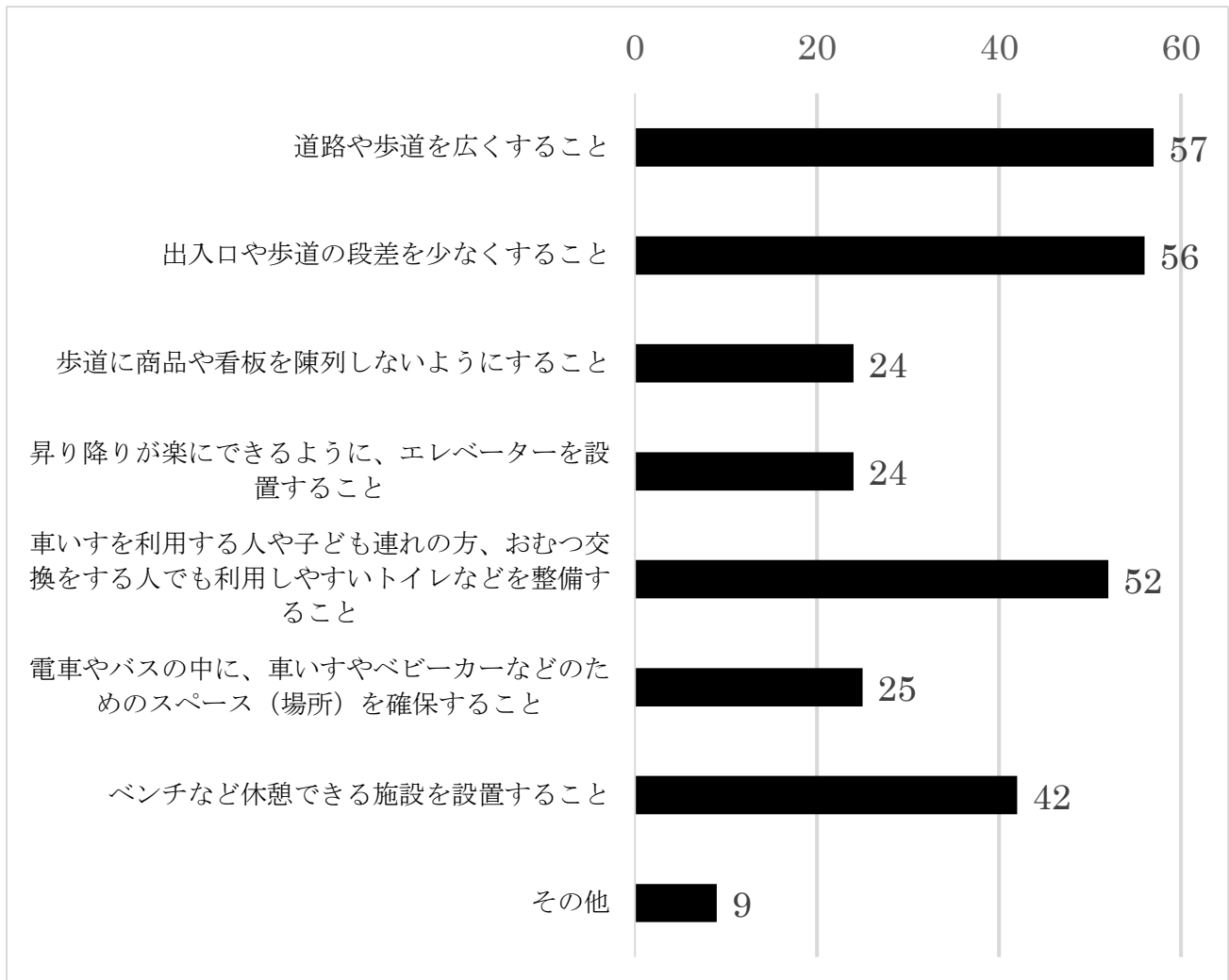
問 13：すべての人が快適に利用できる「サービスの提供」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。（市の窓口、お店、事業所の対応など）



【その他の内容】

- ・ 廃棄物対策課が全戸に配布しているゴミカレンダーや分別マニュアルチラシのように、各部門のサービスと手続きの早わかり冊子を一冊に部門毎にまとめ、全戸に配布する。
- ・ たらい回しをしない
- ・ 市の施設（窓口）を利用する場合に駐車場が広いこと
- ・ 困っている人が着易く相談にのってもらえるような箇所と人の配置が必要ではないかと思う
- ・ 公共施設の始業時間が遅い、せめて8時には開館してほしい
- ・ 特に市の窓口がよくなっています。街中のお店事業所も昔よりはずっとよくなっています。
- ・ 新しいものばかりにたよらず、ベース作りをしてから発展させてはどうか
- ・ 行政も利用しやすくするため、各市民センターに窓口を設ける
- ・ 1の窓口から2の窓口へ向かう時の書類等の準備を知らせること（本人へ）

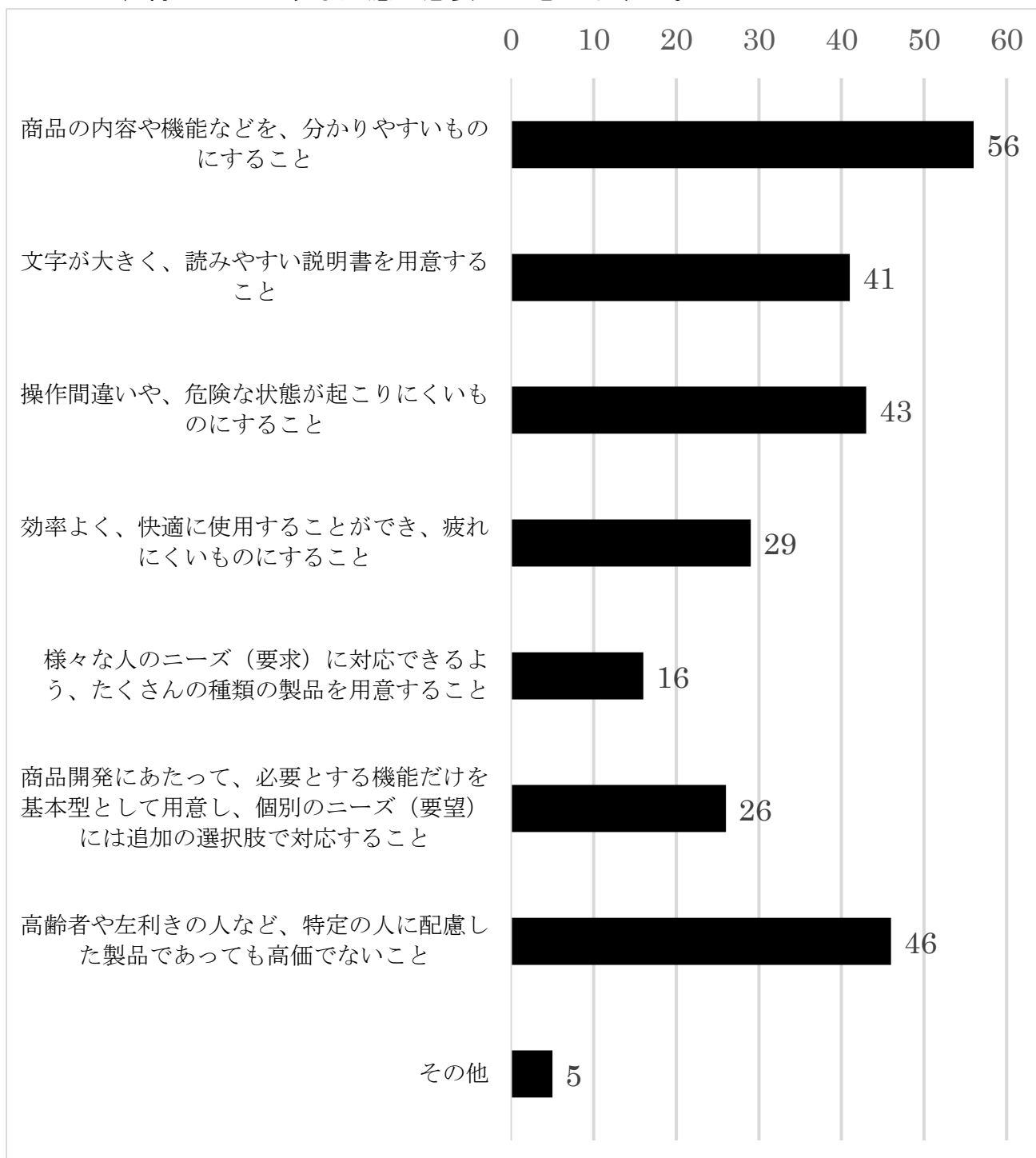
問 14：建物、道路、交通機関などを安心・安全・快適に利用できる「まちづくり」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。



【その他の内容】

- ・車いすや、松葉杖を使用している方でもスムーズに動けるよう、余裕のあるスペースのトイレの設置、エレベーターの設置を増やしていただければと思います。
- ・側溝に蓋をして歩行者の事故防止を図る。降雪時の狭い歩道が確保されていないので、歩行者の事故防止対策が必要です。
- ・駐車場を広くする
- ・歩道や自転車道を確保し、電柱などで妨げない段差をなくする
- ・積雪時の道路幅が狭いため、危険であるので対策をする
- ・人各に希望するところが違うので、それらを全て実施することは無理だと思う。人にやさしいまちづくりがいいと思う
- ・歩道が車道側に傾斜していて車椅子・視覚障がいの方には危険。施設に付帯した駐車場（市の場合、絶対的に少なすぎる）
- ・高齢化が進んでいる為、バス路線の無い地域にコミュニティバス路線の新設と路線延長を進めること
- ・具体的に店名を広報誌に掲載すると各店では増設が増える（ワンズホーム店ではオムツ交換、女性専用トイレは喜ばれる、ヨーロッパでは当たり前になっている）

問 15：誰にでも使いやすく、使ってみたくなるような「ものづくり」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。



【その他の内容】

- ・「高齢者や左利きの人など、特定の人に配慮した製品であっても高価でないこと」にプラスして、安全に使用できる商品であること。
- ・トイレの水の流し方や使用方法を共通にする
- ・これも全てを良くする事は無理であると思う
- ・インターネットだけにたよらず、紙や手書きも利用しやすくする
- ・姫鋏のシャープのように、右利き・左利きあり等を広報で知らせる

問 16 : 会津若松市の中で、特にユニバーサルデザインが進んでいると思うところを具体的に教えてください。

■ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、公共交通、標識 など）

年代	性別	回答
10代	女性	・ 標識
20代	女性	・ 大型スーパーでは、スロープや広い出入口、大きめのエレベーターを設置するなど誰でも楽に店内を移動することが出来る。 ・ 商業施設、道路 ・ 市役所のカラーの道線、アピタ、稽古堂、整備された道路（拡張）、ニトリ、アミーゴ、ダイユエイト、富士の湯
30代	男性	・ 新規施設は段差や案内など進んでいると感じています。 ・ 公共施設
30代	女性	・ 運動公園の公園は凄く広く子供たちが遊びに行っても楽しめるので良いと思います ・ エレベーターの押しボタン ・ 会津稽古堂、図書館
40代	男性	・ 会津稽古堂、あいづ運動公園、大町通り（整備された部分）、北会津支所 ・ 稽古堂や会津医療センター等の近年建築された公共施設。 ・ 公共施設の多目的トイレや歩道の点字ブロック等や信号の音等 ・ 新しい公共施設
40代	女性	・ まちなか周遊バス ・ 施設内のトイレに外国語案内も表記してあったり、市の広報の英語版を発行したりしているので、外国の人にとっても住みやすいと思います。 ・ 公共施設 ・ 標識は年々見やすくなっている。町中のお店で車イス対応のトイレが増えてきている。 ・ 公共施設 ・ 駅のまわり（例、出入口で鳴っているインターフォン）
50代	男性	・ 見てはいないが「稽古堂等の新しい施設」は考慮されているのでは？
50代	女性	・ 新しい案内表示など見やすい。 ・ 標識 ・ 公園 ・ お城（鶴ヶ城） ・ 若松駅に久しぶりに行ったら待ち合室もきれいに字も大きく見やすくなっていてトイレも使いやすくなっていた ・ 会津稽古堂
60代	男性	・ 標識 ・ 神明通りは、電柱地中化により、歩道と車道が広くなり、また、歩道

年代	性別	回答
		<p>の段差も少なく歩きやすいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設で、総合案内で、どこに行けば、目的が、達成されるか案内してくれる。 ・公共施設 ・稽古堂、総合運動公園など、新しさもあるが利用しやすい、人に優しい ・公共施設、公共交通（公共施設での出入口部での車いすや歩行障害を有する人のためのスロープ部分はよく見かける） ・気をつけて見ていないので気づかなかった ・コンビニ等のトイレ共有化情報の案内板を充実する ・公共施設、標識 ・公共施設の下水道の普及によって環境改善が進んでいる。道路・標識（多言語表記を含む）も進んでいる
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・意識してみていないせいかよくわからない ・稽古堂はさすがにすみずみまで配慮されています ・公共施設、鶴城コミセンの段差がない、トイレが良い ・本町の生協を利用した時、入口にすぐ車いすが用意されていた ・「えころん」や「あかべえ」などの循環バス、けいこ堂 ・會津稽古堂、アピタ、鶴ヶ城、中央通り、河東西公園
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・野口英世青春通り ・道幅の狭い交差点に従来の「茶色」の塗料を塗って、手前から交差手だとわかるようにして、出会いがしらの事故を防止する。 ・会津風雅堂、駅、県立博物館 ・会津若松市の歴史上の人物や建物等に案内板等があり好ましい ・図書館 ・七日町通り（公共施設の道路） ・公共施設
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・（公共施設）誰でもが気軽に利用できる施設になってきたと思う ・公共施設、公共交通
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・稽古堂はすぐれている

■ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）

年代	性別	回答
10代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・防災
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報や熊出没情報を送ってくれる ・情報 ・ヨークベニマル（出入り口にいろんな情報が張り出されている）、まんまーじゃ（チラシに時々入ってる）、カインズホーム（チラシが見やすい）
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・所用で市役所に出向いた際、他の部署の方でも目的の部署へ案内してくれることが多く、助かっています。 ・情報
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・目や耳が不自由な方には安全に外出できるように考えられていると思う。 ・市政だより
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・感じない ・公民館での各種証明書交付や納税等を出来るところ ・市政だよりや SNS など複数の手段での情報発信。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・私の子供は松長小学校に通っているのですが、母国語が日本語ではない子への特別教育プログラムがあると聞いています。 ・市役所に手続の場所を説明する人がいる。 ・防災訓練をい、ニュースで市民に通知。 ・サービス
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・特に感じた事柄はありません。
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・言語表記が多種になった ・防災 ・市政だより ・インターネットを通して情報がわかりやすくなっている ・公共機関等で行われる送迎サービス
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供（インターネット） ・サービスで手続き書類の記入方法など丁寧に教えてくれる。 ・意識 ・市役所、社会保険事務所など公務員の方は親切になった ・情報（公共施設のうち、道の駅などでは多言語による表記やピクトグラムなどによる情報提供はよく見かける） ・パソコンによる情報等は見えていないので不明。市政だよりや新聞、チラシ、ポスター、テレビ等主な情報源です ・情報 ・サービス・情報・安全・防災＝道路管理協力隊による市地図サイト活用及び提供と市からの情報メール配信サービスなどが有り進んでいると思います

年代	性別	回答
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・意識してみていないせいかよくわからない ・観光都市だけにソフトの部分は各意識有です ・情報 ・防災情報を登録したら熊の出没や災害がすぐに確認できる ・市役所 HP, 50 音順生活系ごみ Q&A 分別辞典、防災資料の全戸配布 ・スーパー・コンビニで公共料金が支払いできること
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴ヶ城、稽古堂 ・公園や防災マップ等が不十分 ・スマホ等で前の市民ニュースが観られる ・情報
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関心のある方がふえてきている（勉強会もある） ・情報、サービス
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・大町通りのサービスは感心しています

問 17：会津若松市の中で、あまりユニバーサルデザインが進んでいないと思うところを具体的に教えてください。

■ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、公共交通、標識 など）

年代	性別	回答
10代	女性	・公共施設
20代	女性	・会津若松駅のトイレが狭くて使いにくい上清潔感がない。オストメイト向けのトイレが少ないと思われる。駅周辺は飲食店が多いが、商業施設が少ない。 ・狭い道路、飛び出しや出あわせが少しでもあり得る角すべて
30代	男性	・古い市庁舎の迷路のようなつくりは、いくら通路に色付して案内しようとしても構造上限界にきていると思います。 ・公園 ・維持管理が追いついていないのか、道路白線が薄かったり消えている箇所を早急に塗り直して欲しい
30代	女性	・出掛ける場所が少ない。 ・電信柱に黄色い反射するのが付いていないのがあるので気になります ・車イスの方が利用できるバス ・公園、道路、路線バス
40代	男性	・感じない ・本庁舎、文化センター、鶴ヶ城体育館、旧市内の道路（一方通行、クラック等々） ・道幅の狭い歩道や自転車専用道が少ないところ。 ・市の公共施設以外の店舗やその他施設は全体的に進んでいないように思う。 ・本庁舎、古い公民館等
40代	女性	・雪国なのに屋内のプールや体育館がイマイチ ・公園で屋根付きのベンチが少ない気がします。お年寄りの方や小さい子供が公園を利用する際には必要ではないでしょうか。 ・市役所の中の手続きの場所がわかりにくい（建物自体）。説明などを立ってうけることが多い気がする（説明を受ける窓口に椅子がない）。 ・公園 ・野口英世通りのレンガ道は車イスが通り辛い。 ・案内板や道路標示がわかりにくい ・公園、交通機関 ・商業施設 ・車場等の入口の標識
50代	男性	・道路・標識 ・役所対応
50代	女性	・標識、公共施設のトイレ ・駅のホーム、トイレ等の不便さ。公共場の駐車場の少なさ、遠さ。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・道路。 ・公共交通 ・城下町のため道はばがせまい。 ・大きな道路は整備されているけど、せまい道路は段差がありまだまだ進んでいないと思います ・音の出る信号機が少ない
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路 ・公共交通機関が不便。バスの本数が少なく、車を持たない人にとっては、外出するのが億劫になる。 ・車道は、一定レベルに達していると思うが歩道、横断歩道が、必要なところに無いと思う。 ・道路、公園 ・道路（主要道除く）人には不親切、公園（小さな公園）あるというだけ、避難所？ ・商業施設、道路（民間施設や道路施設では車いすや歩行障害を有する人への配慮した構造となっている箇所は少ない） ・若松駅のバス停留所に屋根がなく、歩道が明確でなく危険である ・マイカーがないと出歩きが難しい ・全体的 ・公共交通、標識 ・公共交通＝例えば河東地域コミュニティバス路線系統見直しが進んでいない。歩道の拡幅も
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路（傾斜や段差） ・公園（ボール遊び禁止）などの標識がなかったり風化している。公共施設では特に文化センター（特にトイレ） ・公園、公共交通、点字ブロックの補修 ・個人の歯科医院に和式トイレしかなかったこと ・道路～車椅子が通れないような歩道がまだまだある ・古い市公共施設
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備 ・街中に公衆トイレを効率よく設置を希望します。 ・道路関連 ・歩道と車道の段差、及び、歩道の狭い所が多く、車イス使用もままならない ・商業施設や公園 ・水道関係と思う ・旧大町通り（道路・商業施設） ・公共交通

年代	性別	回答
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設、デパートもなし、映画館もなしで市中心から流れてしま う・・・他の県とか町へ ・道路、標識 ・道路（歩道の傾斜、点字ブロック（視覚障がい者に対する）、自転車道 の不備、文化センター近辺の駐車場・トイレ）、公共施設、公園等にベ ンチ、東屋など小休止出来る場所
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路：駅（若松）～神明通り、鶴ヶ城通りなどよいが、中心から離れた歩道、自転車道はまだ道違い
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・七日町通り、大町公園、大型バス

■ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）

年代	性別	回答
10代	女性	・意識
20代	女性	・全体的に古い建物は危ないように感じてしまう（特に安全・防災面）
30代	男性	・若者と高齢者の情報格差は大きいのではないのでしょうか。 ・安全 ・高温や記録的大雨などニュースで見かける日々だが会津若松市の防災への対策や窓口がどうなっているのか不明
30代	女性	・ほとんど進んでない ・子供がいても何かボランティアに参加出来る事があれば知りたい ・まだまだ浸透していないと思う。子供が学校で勉強したのでそれから私は興味を持ちましたが、普通の人には気にも留めないと思う。 ・子供の遊び場
40代	男性	・感じない ・公民館の職員の対応が、人により変わっていた。（お年寄りへの対応が不親切だった） ・昔に比べて町内会や子ども会の活動への参加者が少ないと思います。 ・情報が広報紙以外、耳にしていないので進んでいないと思う。 ・全般的に進んでいない
40代	女性	・語等の外国語を普通に話すことができる人が少し少ない気がします。外国の人に対面で情報提供する際に不自由ではないのでしょうか。 ・災非難場所など、お年寄りなどではわかりにくい気がする。 ・意識（浸透していないと感じます） ・サービスはあんまり意識したことがないです。 ・サービス ・情報 ・あいべあ。学校に通っていることで利用しているが、一般の人々には理解されていない所があるのでは？ ・インターネットを使えない人に対するサービス
50代	男性	・防災・サービス ・市HP
50代	女性	・特に思いあたらない。 ・情報 ・スマホのアプリに会津若松市の地図に必要な場所の明記。たとえば災害の情報では緊急の場所がどこに避難するかなど周知してほしい。 ・災害があった時どこに避難するのとかあまりわからないと思うので周知してほしいです ・荒い運転や予測のできない運転をすること
60代	男性	・防災 ・先進的な観光地に比べ、パンフレットの外国語対応が少ないように思

年代	性別	回答
		<p>われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災、避難場所の表示が、行き渡っていないと感じている。 ・サービス ・例えば、小さなお祭りや小さな花火大会などは情報が得られないので拾えるようにできないか？ ・意識、安全、防災（安全・防災に関する表記やピクトグラムなどが多言語による情報が発信されていない。また、安全・防災におけるユニバーサルデザインの意識は低いと思える） ・町内の防災訓練がされていない。避難場所が一箕中であるので坂がある。2011年で地割れある。 ・高齢者世帯へのPC情報等のサービス ・情報 ・全体的 ・意識 ・安全防災 ・意識啓発などが進んでいない
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の伝達手段が弱い ・各々の意識にもよりますが、情報があまりゆきわたっていない気がします ・安全、防災 ・各業界においてカタカナの用語が多くなったようで、身近に理解しにくくなったように思う ・町内会の意識（素晴らしい地区もあるが・・・）、防災意識
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し分かりやすく具体的な広報 ・防災マップや避難所の案内板等 ・スマホの発展に依り公衆電話が少なくなった ・意識
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・安全、防災 ・旧庁舎全体に万が一の際の安全（誘導を含めて）心配
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の中にユニバーサルデザインを取り入れてください

問 18：あなたが日常で見つけた「ユニバーサルデザイン」と思うものを教えてください。（シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など）

年代	性別	回答
10代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パック、スロープ
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・階段わきのスロープ、エレベーターのボタンあたりの点字 ・鶴ヶ城に外国人の友人を連れて行った時に、英字幕がついていたので大変喜んでいました！私も地元の歴史をきちんと理解してもらえたことがうれしかったです。（大阪城にはついていなかったと、不満を漏らしていました）
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムによってすぐになんのための場所であるか直感的にわかりやすいです。 ・標識の多言語表記 ・最近行った観光地（松島）のパンフレットや表示で英語や中国語が目につくようになった
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい道路の歩道が広い ・自販機のボタン ・障害者用トイレマーク。点字ブロック。段差スロープ。 ・レストランの子供の為のイス、おもちゃのサービス
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の案内表示、思いやり駐車スペース ・点字ブロック、多目的トイレ、オストメイト、手摺、スロープ歩道、名刺の点字、信号の音、駐車場、他多数。 ・絵、記号での案内板
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・最近クーラーを新しくしたのですが、ボタン操作する際に「電源を入れます/切ります」「～度に設定しました」のように音声がつくようになりました。押し間違いや消し忘れが減った気がします。 ・シャンプーの凸凹 ・トイレの男女のマーク、英語表記 ・自動販売機の下にボタンがあるもの。信号機の色が見やすくなっている。 ・最近のペットボトルもちやすくなっている ・道路の標識、スーパー等のトイレ手すり ・お酒のアルミ缶についている点字表記 ・つめかえ用シャンプーなどに書いてある、飲んではいけないというマーク
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口の自動ドア、ドラム式洗濯機（前面取出し）、一部銀行の案内係
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内のスロープ、手すり。自販機の使いやす。 ・標識の多言語表記。牛乳パックのへこみ。 ・病院（西病院）の、待合室にひざ掛け毛布が置いてあったこと。私は体を冷やすと体調が悪化するため、外出中はひざ掛けが必要。ホームセンターなど、広い店に車いすがあり、買い物中に借りられること。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨークなどでタクシー会社に直接つながる電話の設置。ヨークなどで目の不自由な方への案内ボタンの設置 ・シャンプーつめかえ用に点字があった。視覚障がい者にとってはわかりやすくてよい。 ・文房具のカッターは右利き左利きどちらでも使える。方眼定規（ウェーブ目盛りになっている） ・点字ブロック、階段などに付けられているイス型のエレベーター、エレベーターの開延長ボタン、落としても割れない皿など
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語表記による標識 ・トイレの洋式化及び車いす用トイレの設置。高齢化に伴い、和式トイレが使いにくいという人が増えているので、公共施設や商店などに設置が増えるのが望まれる。 ・スーパーなどでトイレへの誘導表示が、なされている。スーパーなどでの製品のブース案内表示が、なされている。 ・自動精算機（スーパー、病院、パターンが不統一だが） ・鶴ヶ城の案内板（見やすくなった） ・須賀川市の釈迦堂川、新潟市の万代橋の信濃川の河川空間は親水性空間や防災空間を確保していることと、堤防末端を広く取ったユニバーサルデザインを意識したデザイン空間であった。 ・会津若松市を流下する河川（国、県が管理者）も、今後河川空間の活用が必要となると考えられる。そのための対策の立案が必要となる。子供向けの危険表識をひらがなで読めるようにしてあるところ等親切だと思った ・トイレの男女別マーク、公共施設への誘導案内の充実 ・すべての人に対応するのが「ユニバーサルデザイン」でない。その場所の歴史・文化が必要であり、ものだけではない。 ・観光地の多言語表記 ・駅の多言語表記 ・東武鉄道は特急列車内で車内放送、多言語放送（英語・韓国語で案内）を実施しているが、会津鉄道は実施していない。ユニバーサルデザインの一つとして会津鉄道も多言語を導入する
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の入口に大きな人のマーク（インパクトがあった） ・牛乳（紙パック）のあけ口、点字ブロックの道、まほうビンのソケットがマグネット式ですぐに外れる、多目的トイレでのさまざまな配慮、絵文字（トイレ、非常口、立入禁止 etc） ・点字ブロック、信号の音楽、トイレの表記 ・Good デザイン賞の受賞作品やノミネート作品 ・駅のエレベーター、トイレの種類（男女別の他にもう一つのトイレが設置）

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・竹田総合病院床の色別。通るとすぐに開いてしまうドアではなく、突起のある「自動ドア」の文字ではなく、平ら（ガラス戸と）な表示 ・洗剤のふた、筆記用具（ボールペン等）、テレビ等のリモコン、電子レンジで使える漆器、無印良品、女性用2wayサンダル、ふたをとらずに飲む水筒
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・使用して人体に危険が場合の表示が、大きくわかりやすかった。 例：混ぜると危険（塩素系の漂白剤やカビ取り）” ・公共施設や旅館、ホテル等の多言語表記 ・電動自動車の充電所やコンビニでの携帯電話の充電施設等 ・会津若松駅構内の案内表示等 ・野口青春通りの（ワンズホームのトイレに女性用、赤ちゃん用トイレ設置）育児対応
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・点字がついている商品、多言語表記、トイレの標識 ・触れるだけで点灯するランタン、ソーラーランタン、音声で案内が出るスマホの機能、手まわしで充電できるラジオ、音声入力パソコン
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・城内の新しいトイレはみごとです

問 19：より「ユニバーサルデザイン」の取組を進めていくためのアイデアを具体的に教えてください。(サービス、施設等の設備、ものづくりなど)

年代	性別	回答
10代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が無くてもわかる矢印や図を利用した案内
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路などの小さな段差や亀裂をなくし、危険な場所などがわかりやすいような看板や表示をしてほしい ・これだけ外国人の観光客も増えているので、東京におとらない程、様々な所に英語標記やパブリックで利用できる公共トイレや施設（休憩所）など、レンタルサイクルの充実等。またユニバーサルデザインのマークシールを使って認識度を高める
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業へのユニバーサルデザインを導入した場合の優遇措置。 ・誰が見ても分かるような表記 ・やっています、取り組んでいますと言っても人に伝わらなければ意味がない。営業がいくら「頑張っています」と言っても売り上げがなければ誰も認めてくれない。市政だよりやHP、会津若松+で広報しても目に付かない、見てくれなければ相手に届かない。そういう人にどうやって見てもらうか、伝えるか。それが全国各地の自治体や行政の課題ではないか。選挙の投票率が40%~50%という現実には半分以上の人が市政に興味がない、又は期待していないのであって、これでは行政が進むはずがない。同じことをやっただけは何も変わらない、やるべきことはやる、やらなかったことをやる、やったことのないことをやる。それを2-1問7-1（他県へ旅行に行った際、交差点前にある道路案内が少ないと不便を感じる。このアンケートで問3市民だどれだけ多く車やバスなどを多く利用しているのか分かるはず。つまり、例えば「あいづっこ宣言」の看板を設置するとして、七日町や大町通り、城前に設置したのでは、観光客向けのアピールであって市民は車で通り過ぎるだけ、目に入らない。設置しました、こういう取組をやっていますという役所側の予算獲得と予算の消化、自己満足で終わる。交通量の多い交差点の信号待ち時間に目につく場所に設置したほうが「市民」の目につくし、他の広報より効果があるのでは（もっとも信号待ちに携帯を見ている人が多いのも事実だが…）5W1Hではないが、どこで？誰に向けて？どのように？をよくよく検証してピンポイントで行動しないと、目を通さずに捨てられるチラシと同じで無駄な税金浪費にならないようにしてほしい。）、3-1問11（市内に活気がない、近所付き合いや人間関係が希薄になっているとはいえ、十日市やほおづき市、神明神社の祭りや会津まつりでは多くの市民が街に出て賑わう。ということは祭り好きという部分ではある意味で市民の一体感が生まれている。市はこういう場をどう活かすか、こういう場でUDや会津っこ宣言、もしくは政治活動にならない程度の何らかの催しを開いていくのか新しいやり方、新しい意見を取り入れるチャン

年代	性別	回答
		スだと思っただが…。) で提案しました。市政だより 2月号で平成28年12月1日現在で人口122,768人だったのが、8月号では平成29年6月1日現在122,079人と700人近く人口が減っています。危機感をもってスピーディに新しい取組みを進めてください
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えなければユニバーサルデザインも意味がない。若いファミリー層が楽しめる企業を呼びその中でユニバーサルデザインを進めていってほしいです。イオンモールや映画館やIKEAなどができてほしい ・イベントなどでの紹介 ・アンケートなどで意見を聞く
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な工事を無くし、街並み統一の色味などが先 ・市民がユニバーサルデザインについて学び、その市民が街づくりに参加できる官民協働の取組み。 ・少子高齢化時代に合った公園の整備。子ども向けの遊具以外にも大人が運動出来る器具の設置や気持ちよくランニング・ウォーキング出来るように整備したりテーブルやベンチを設けて交流スペースを作るなどの取組み。町内会活動への支援や取組みを広報して欲しい。 ・少数者の意見の抽出
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは市役所の建て替え。あちこちに別れていて分かりづらい、駐車場足りていない ・シンプルで多国語に対応したインターネットによる情報提供。お年寄りや外国の方、観光客にも会津をもっとよく知ってもらえるように、官民のネットをリンクさせて情報提供の幅を広げていくのはどうでしょうか。 ・道路の段差を少なくする。 ・障害者や高齢者、外国人、乳幼児などの団体に町巡りを企画。市民に発信。 ・市民に公募する ・ユニバーサルデザイン＝道徳のような印象を受けるので小さいときから幼稚園や学校などで授業として行う ・わかりやすい(店舗などの)地図 ・海外からくる人々にもわかるように、図案系されたマークを貼る。例えば、図書館や市役所といった場所に「ここは××です」とわかるようなマークを作って表示する。 ・そもそも「ユニバーサルデザイン」という言葉を知らない人が多いと思うので、まずは言葉を知ってもらうことが大事
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の建替え場所やデザインを十分に考慮願いたい。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 車両や公共交通機関で行き易く、駐車がしやすいか? 2. 現在の近辺商業者の為だけを考えていないか? 3. 敷地面積の不足から複数の施設に分散されているものを一カ所に纏

年代	性別	回答
		<p>めては？</p> <p>4. 県立病院跡地なら高層でも建築可能と思われ、十分な広さも確保できるのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作る目線でなく、使う目線で
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に、高齢者や小さな子供さんのいるお母さんなどにリサーチする。 ・シャンプーボトルの凸凹にしても、あまり知られていない。PR不足を感じるので、分かってもらう為の広報活動が必要。 ・難病指定されていない難病患者や、障害者の認定までいかない人にも、受けられる公的なサービスがあったら良い。受けられる公的なサービスがあるのなら、気軽に電話などで問い合わせができると良い（移動の負担が軽い）。駐車場から建物が近いと良い。 ・足腰が弱くなってくるお年寄が少しでも外出しやすい様、広い道路があれば良いと思う（手押車使用の際） ・トイレ（和式の使い方を教えるポスターを貼る） ・信号機で歩行者用と車の右左折とぶつからないように矢印の信号機がふえれば、より安全になると思います ・ユニバーサルデザインについての理解・意識向上→取り入れる場所の検討（複数挙げる）※予算も増える→候補について市民の意見をつのる→多く寄せられたものを取り組む→後日改善すべきことをつのり、次回につなげる（※上記に戻り繰り返す）
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・会津は、雪が多い地域であり、高齢者などにとっては、除雪が大きな悩みとなる。外出をあきらめることにもなる。雪国ならではのユニバーサルデザインとして除雪対策などは考えられないか。 ・スーパーなどの駐車場で、雨や雪の降っている時でも店舗内へ傘を使用せずに入出りできるように整備してもらいたい。 ・トイレの使用方法を共通にしていく、旧式は順次切り替える ・本市のシンボルである鶴ヶ城西出丸周囲のユニバーサルデザインを提案する。 （背景）過日、県立博物館を見学し鶴ヶ城内を三ノ丸→本丸→西出丸と徒歩で通過した。その時、長坂にあるマンホールやアスファルトとの段差、および西出丸駐車場の砂利等により、高齢者（女性）が小石が靴に入り歩きにくそうであった。 （提案）会津若松市に自動車で来た人々には、西出丸、長坂が鶴ヶ城の初めて接する所となる。三ノ丸との景観や駐車場には大きな差がある。そのため西出丸周囲をユニバーサルの主旨で改善する。 ・一人々が関心を持ってもっといい町にしようとする意識の向上が必要であると思う。私を含めて ・多目的施設の充実（くり返しの音声案内は必要最小限でよいのでは？

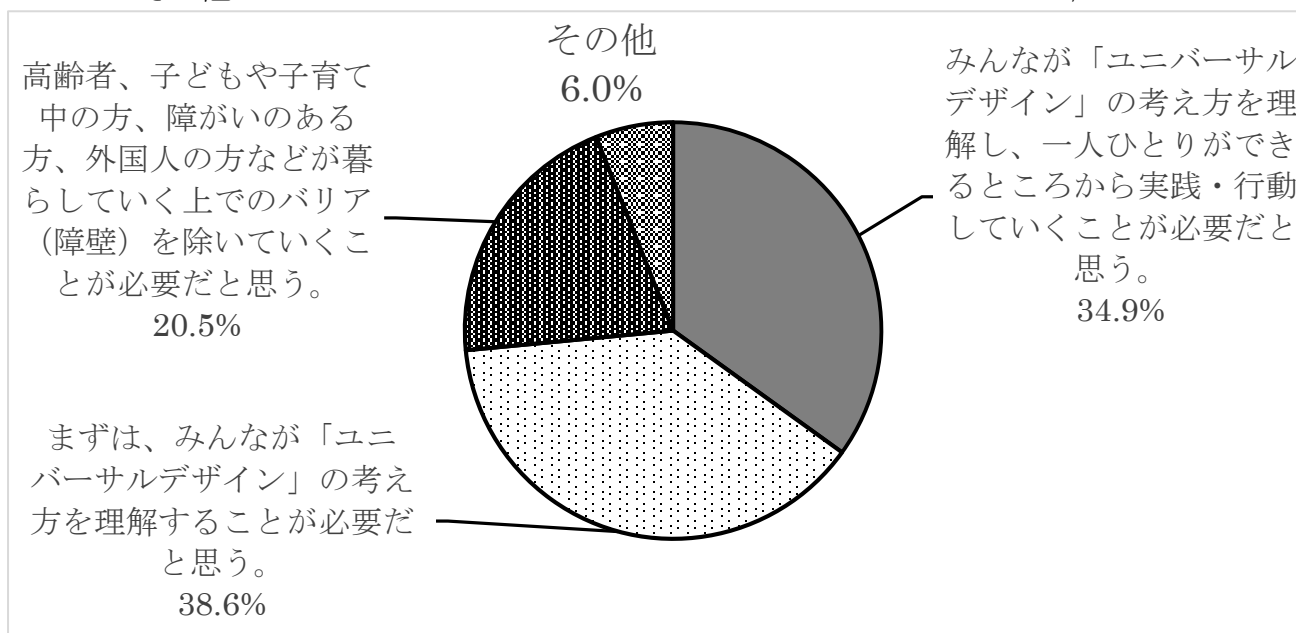
年代	性別	回答
		<p>(特に会津若松駅前施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人をだいじにする教育の仕組み ・車いす、高齢者が動きやすい道路 ・公共交通機関の利便性 ・ユーモアのある表記が欲しい ・ユニバーサルデザインについて市政だよりでアイデアを公募する、ユニバーサルデザインのステッカーを製作し公用車に貼り告知する
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・設問の答えには反しますが、市の取り組み目標を拝しますと、すべてことばとしては網羅されており・・・(自分でできることを考えてひとつでも・・・と思っています) ・現在ある設備の点検、補修にも力を入れてほしい ・お城の本丸等にベンチを設置してほしい、市内のスペースのある停留所にベンチがほしい、各医療機関の下足置き場に丸椅子を設置してほしい ・「ユニバーサルデザインです!」と押し付けられたものは、ユニバーサルデザインではありません。使う人、通る人、そこに住む人が本当にわかりやすい、使いやすいと感じるために作られるデザインを作るために、どうしたらいいか考えればいいと思います ・駐車場は車椅子使用者のための駐車スペースの幅を広くする。当事者の方々に具体的に話をうかがう ・サービス <ul style="list-style-type: none"> →トイレでの販売をしない →電話での音声案内をしない ・会津漆器を生活の中で手軽に使えるようなシンプルなデザインのもの、町内会など様々な組織を男女混合組織にする(男だけにかたよらない)、高齢者の生きがいづくり ・お城の近くを散歩しているときに、お城のトイレがない表示があります。もう少しわかりやすく子供やお年寄りの方に、なにか良い方法はないでしょうか
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会にアンケートをとってみてはどうですか ・七日町等の案内板、イス、トイレ、駐車場へわかりやすい表示板等をつくってほしい ・道路と川との境に柵が無いところが多い、落下を防止するための策を取ってほしい ・市内中心部の商業施設(神明通り等)への取り組み ・取組:地域住民(18歳以上)は年1回以上障がい者施設の訪問し「何を健常者にお願い事を求めているのか」を受講の義務化にする ・物づくり:視覚者のつえ、車椅子者等に「手伝いお願い」安全知らせランプの取り付け

年代	性別	回答
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・一方通行が多く、外から来た観光客や仕事の方々が苦勞している。標識をわかりやすく見やすくしていただきたい ・古い建築物（公共、商業施設、商店、旅館等）や道路標識の改築改善
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬園内に、車いすを設置する ・鶴ヶ城内でも手話で案内者を置く ・鶴ヶ城近辺の食事処にユニバーサルデザインの食器でおもてなしをする

4. 今後のユニバーサルデザインを進めていくことについて伺います

問 20 : 「ユニバーサルデザイン」の考え方によるまちづくりについて、あなたの考えに最も近いと思われることは何ですか。

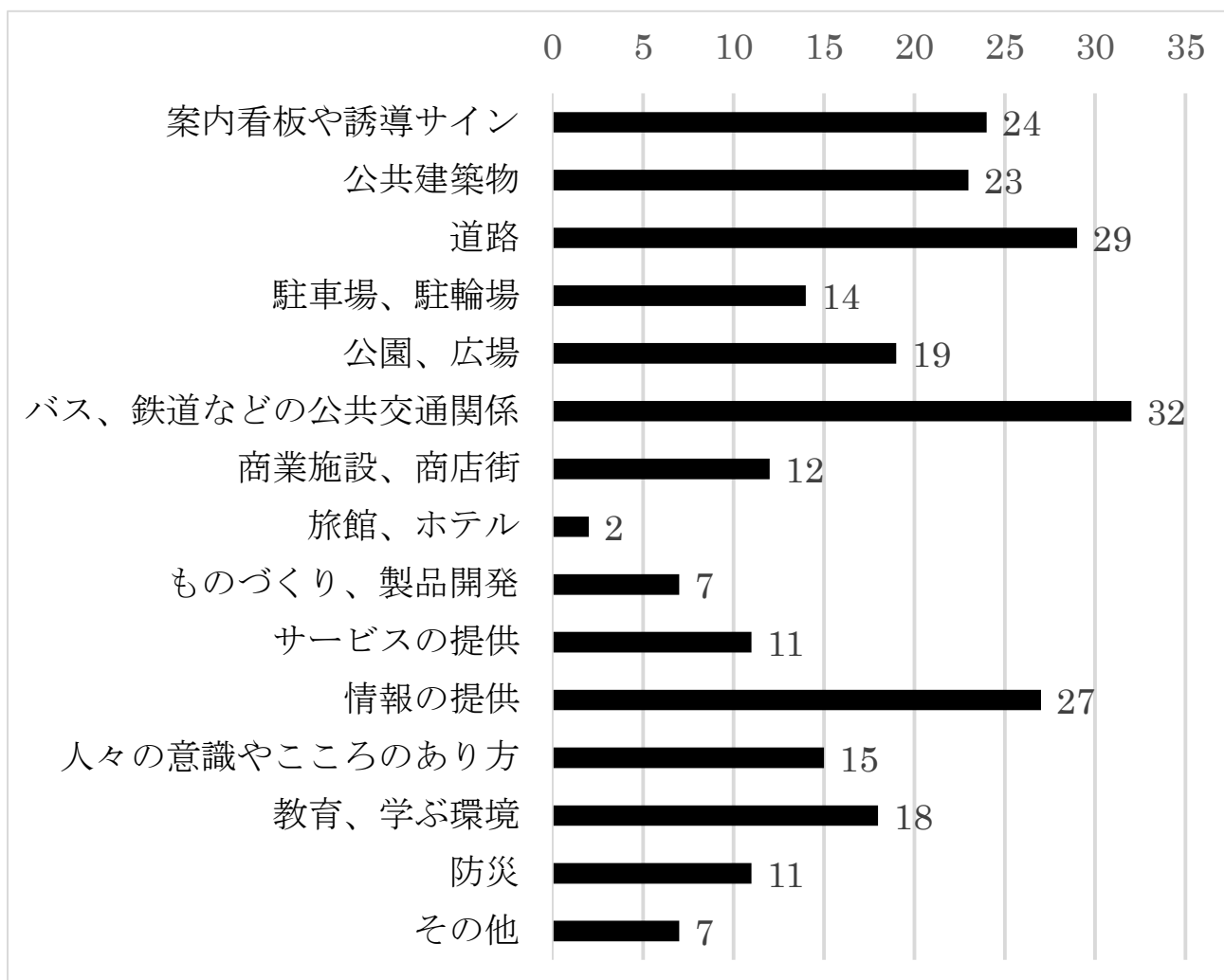
1. みんなが「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解し、一人ひとりができるところから実践・行動していくことが必要だと思う。 34.9%
2. まずは、みんなが「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解することが必要だと思う。 38.6%
3. 高齢者、子どもや子育て中の方、障がいのある方、外国人の方などが暮らしていく上でのバリア（障壁）を除いていくことが必要だと思う。 20.5%
4. その他 6.0%



【その他の内容】

- ・ピーディーシーエー型のユニバーサルデザインを進める
- ・今後の公共施設を考える時、老若男女が利用できる施設や交流できる施設をつくる
- ・考え方を広めなくていいと思う。大事なのは考え方ではなく具現化
- ・野口青春通り点字ブロック無しほ近くの店、人が認知していて見て見ぬふりは出来ないエリアにしているが

問 21：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。
 また、回答いただいた項目において、具体的にはどのようにユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要があると考えますか。



具体的にユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要と考える部分

年代	性別	回答
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路で対向車がびゅんと飛んでくるように走られると、いつもひやっとしてしまう→道路拡張 ・やはり一人一人が変わらないと全体的には変わらないので、まずは身近に感じてもらうためにどんどん情報、ワードを送り続ける ・子ども達が学校でどんなことを勉強しているのか、子どものいない家庭にも分かるように情報開示することで他の大人が子どもに関心を持ち、社会全体で若松の子ども達を守ったり、育てたりできる環境にする
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体とも連携してよりよい共通の意識があるとよいかと思えます。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・安心して利用できる表記
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・会津若松駅の近くに無料駐車場を作って欲しい ・会津若松駅の近くにショッピングモールみたいなものを作って欲しいです。 ・まずユニバーサルデザインを子供たちに伝える事でみんなが興味を持ち、将来たくさんの方が理解してくれるようにする。 ・もう少し子供を遊ばせる、屋内施設・図書館を増やす ・遊具、あづまやのある公園。まんまーじゃ近くの広場等、何もなくてただの空地になっている ・バス、電車の本数を増やす。1時間に4、5本にして便利にすれば利用者も増える。バス代の一定の料金設定
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは一箕小学校のトイレ様式化 ・先進事例から会津若松市に最適なものを取り入れる。 ・車、自転車、歩行者にとって快適な道路。幅広い年代の人が集まる公園。 ・一人ひとりの意識が大切なので、講習を開催する。 ・絵・記号の案内板を増やす ・官による補助金増 ・多面的な情報提供
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備 ・外国語表記、シンプルでわかりやすい表記等 ・防災などだれでもすぐに避難場所がわかるようにする。 ・公園を整備しきれいにする ・市民が困っていること、不自由に思っていることをもっと発信する ・看板の数が少ない、地味、字が薄くなったりしている、もっと派手にしてもいい ・問19と同じように、他の県や海外から来た人たちにわかってもらえるようにするため ・車や自転車のマークを書いた上で、人の目につきやすい所へ表示する
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の課題は市役所の新庁舎をどうするか。 <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段にかかわらず行き易さは？ ・自動車の場合の駐車のはやすさは？ ・庁舎の分散化を避け、一カ所で済ませられるには？ ・健康診断(成人病予防健診)での困惑例 <ul style="list-style-type: none"> ・検査項目：前立腺癌のマーカー検査(少額の個人負担あり) ・困惑内容：対象条件が喜多方市は毎年可で会津若松市は偶数年のみ。 ・調べてはいないが他の項目もあるかも？ ・市内病院も検査意識が低いため、個人でも受けにくい。

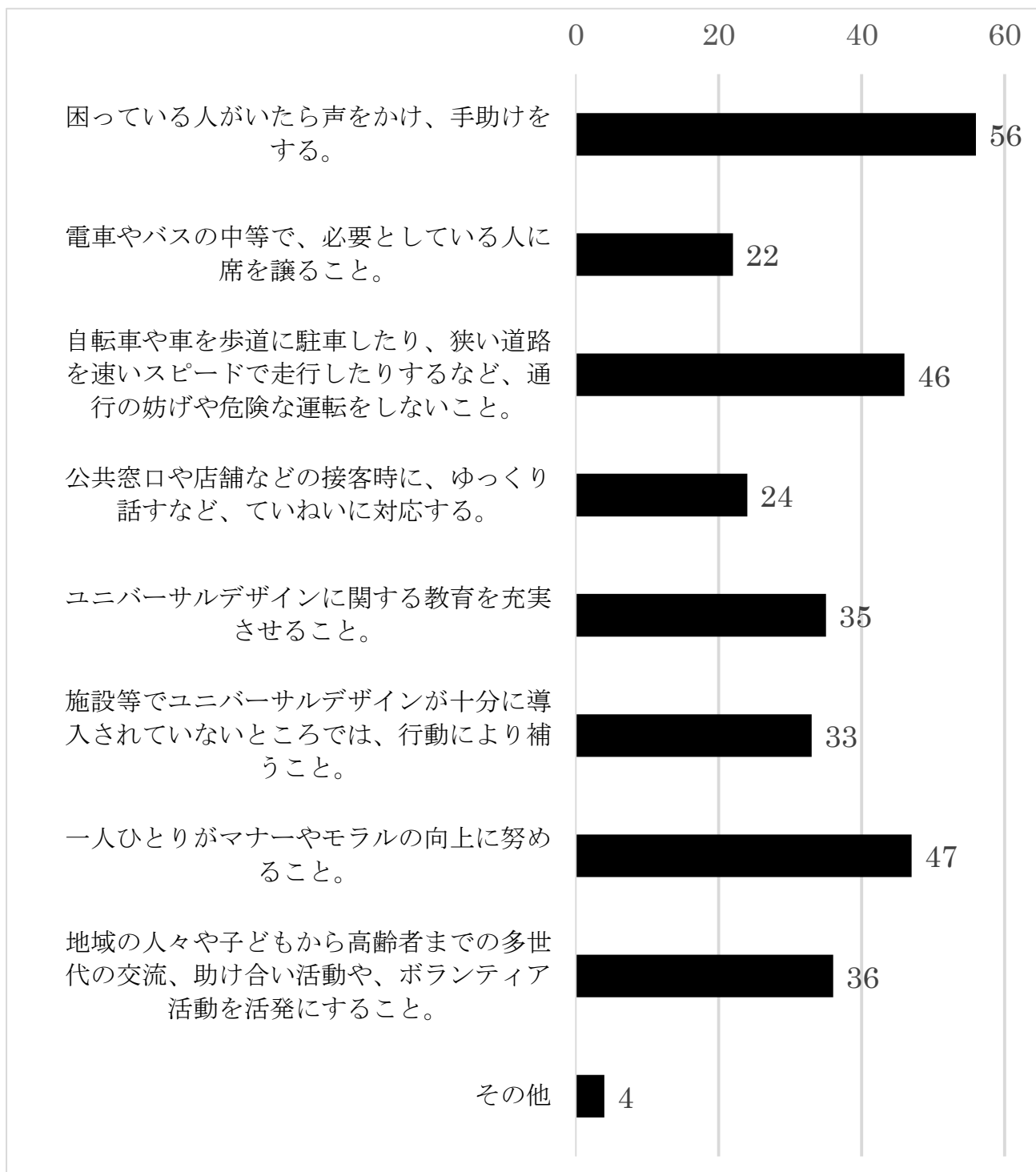
年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・観光地、名称への案内 ・役所対応を親切丁寧に ・会津の歴史を市民が知らなすぎる
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の充実、映画館など ・その地域に合わせ、優先順位を考え進める。 ・自分が健常者であり、若者である時は意識しないと思うので、いずれ自分も高齢者となることを意識させ、誰でも使いやすく便利なものの必要性を認識させる。 ・手続きが簡単。すぐ相談できる。受けられる人の幅を増やす。 ・市政日より ・高齢者、障がい者の方も歩ける様な広い道路 ・乗降時に簡単にできる ・だれにでもわかりやすい様（サービスの提供） ・自転車専用車線を作ってほしい。 ・バスの時刻表を電光掲示板にしてほしい。 ・夏場はグリーンカーテン。冬場は雪よけ用の屋根の設置 ・自転車と歩行者が同じ所を走っているのは危険だと思います。別々にしてほしい ・観光客が多い所にはある場所をわかるように表示してほしいです ・行きやすいようにしてほしいです。なかなか休みにくい雰囲気があるので（公園・広場） ・点字やスロープなど壁を感じることを取り除く ・ノンステップバスなどを増やす ・あらゆる場面において自分の気づかぬ所で人が困るようなことをしない意識を持ち、少しでも他人のことを考えるようにする
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能の商品が増えているが、高齢者等には、使いこなせないものも多い。シンプルで安全な商品が増えてほしい。 ・避難誘導表示板について、経路表示まで設置されているのは、少数だと思います。すべての避難所場所にそこまで表示板を統一して設けるべきと思う。 ・情報の提供について、新たな機器に設定するのではなく現時点で普及されているTVや電話（ファックス）で全市民への情報提供を考えるべきなのでわないか。 ・車優先なので、歩行者が歩きやすく自転車も走りやすくする。電信柱が邪魔、横断歩道も車が止まるようにする ・公共のスペースには社会的弱者が最も安心できる場所、子供、老人、ファミリー層にも公園の充実は最もテーマに沿っている ・誰でも知っている大きなイベント以外にも地域の小さな祭りや花火大

年代	性別	回答
		<p>会などは情報がないので知りたい。四季の花情報とか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別のハード面での対応ではなく、都市デザインにおけるユニバーサルデザインの構築。観光地区、商業地区、住居地区および官公庁地区などの空間デザインを行った結果として、それを連結する手段の中にユニバーサルデザインがあるべきと考える。 ・ ユニバーサルデザインの考え方の浸透を進めるべきである。そのため40～50代の人々には20～30年後の生活のあり方、小中高学生には隣人や障害を有する人とのかかわり方などを育成する ・ 四国八十八か所では1つの県だけで成立しない「心のおもてなし」文化が継続している。会津の文化も会津若松市だけでなく、会津地域として共通の文化、伝統に根ざした考え方や行動ができれば魅力的な地域となると考える。 ・ 会津若松市は街灯が暗い。商店街が少なくなったことも要因ですが、学鳳中高の歩道は暗く、歩きにくい。防犯のため街灯の増設をすべき。 ・ バスの正確な運用時間、若松駅前のバス停留所に屋根を取り付ける ・ 防災～年に1回程度の訓練又は周知を行う（町内）” ・ 人々の意識やこころのあり方が大切 ・ 教育の中に入れ、子供の頃から育む必要があると思う ・ 生活にゆとりが無いと他の人にやさしい気持ちにはなれないので、なれるような環境づくり ・ 案内看板や誘導サインは見やすいものがよい ・ 情報の提供について、PCの普及（スマートフォン） ・ 案内看板や誘導サイン、公共建築物、公園、広場は公共でよく考える必要がある ・ 人々の意識やこころのあり方は特に必要であると思う。 ・ 道路：車は自動運転となり、人の歩くところがだいじ ・ 車は自家用車は少なくなる ・ バス、鉄道などの公共交通関係や商業施設、商店街、旅館、ホテル、ものづくり、製品開発はそれぞれが利用者増進のために考えるので、行政等で対応はしない ・ 車いす高齢者が冬雪でも動ける様な道路 ・ 公園、広場は自転車が多くてあぶない ・ 他人に対して手伝うという気持ち ・ バス路線の利便性と運行車両等の効率化（小型化） ・ 商業施設、商店街は若年層の集まる施設や品揃えを検討 ・ 郊外にもユニバーサルデザインを導入した公園を新設する ・ コミュニティバス路線を見直す。例えば磐梯町・三島町の町民バス路線を参考にして

年代	性別	回答
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・案内看板は走行中に見る時があるので適切な場所であるかの見直し。たとえば風雅堂などでの椅子席の番号をもっと見やすい表示にする ・あくまで個人的な意見ですが、県立病院跡地に市役所が・・・と思っています ・バスのダイヤが改正されてしばらくたちますが、不便だねえの声が多々聞かれます ・大事な情報は何度も何度も提供して欲しい（受ける側は多種多様ですが、とにかく提供してほしい）” ・子供、老人、外国の人でも理解できるデザイン ・路線等、増々複雑になっているので、図でわかりやすく ・情報を入手しにくい人に対して、その人々に応じた細かい方法を導入して ・高齢者の買い物や医療受信等相乗りによる送迎システム等を考える時期になっているのかなあとと思っています（大戸地区として） ・日中や夜など一人で食事が作れなくなっている人がバランスの良い食事が取れるような場所（喫茶）のようなものがほしいと思っています。それと同時にその場所に行くと、自由に会話ができる、楽しいプログラムが時折ある、さまざまな情報が得られるような場所があったらいいと思う、高齢者に限定せず子供たちも過ごせるような場所があればいいと思います ・古くても使いやすい、どうしても古いものは修正していく。何でも残せば良いつてもものではないと思う（公共建築物） ・情報の発信元が増えすぎ。アプリとかを増やしても使われなくては意味がない。そこまで考えてから作ってください ・地震があつて以降、この取組はやってあたりまえ。良いところは他エリアの見本でもいいから取り入れるべき（防災） ・バスの乗降の際、老人や目の不自由な方がとても大変そうにしています。ノンステップバスの導入はどうでしょうか ・公園、広場は健常者の為のものばかりなので、公園の遊具の選定などはいろんな人々が選定してはどうでしょうか ・市政だよりも毎月ユニバーサルデザインの紹介コーナーを作って市民に関心を持ってもらうようにしてはどうでしょうか” ・古い建物でも、使いやすく魅力あるものにしていく ・会津若松市の地場産業発展のため会津らしさをだいでいく、シンプルで使いやすいもの ・情報がもっと浸透していくよう、そして高齢者、一人暮らしにもわかりやすい方法を検討する（町内会に高齢者向け情報提供者を作る）” ・バスの路線が変わり、不便を感じます

年代	性別	回答
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場、歩道、トイレ ・ 道路の表示、丁・町・通り等をわかりやすく ・ 道路の凹を無くしてほしい ・ 商店街、特に神明通りにガードを ・ 各町内会に集会させ講義をしていく ・ 駐車場、駐輪場は1台あたりのスペースを広くして入れ易くする ・ 車イスでも楽に乗降できるようにする ・ 売り場の通路を広くする ・ 障がい者も受身であってはならない、健常者へ知らせる「助けて、手伝ってほしい」つえ、車イス等に赤ランプ等で困っていることを知らせる（差別になるかも） ・ 人々の意識やこころのあり方について、係りになりたくない（冷たい心）、災害が少ないからボランティアの意味が理解されていない
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地へ行くまでの案内板が少ない ・ レンガ敷石通り見た目は良いが、はがれたりして車が通ると音が出るので・・・歩行者専用ならいいと思いますが。 ・ 中心市街地に商業施設 ・ 道路の拡幅 ・ バスの運行回数が少ない ・ 高齢者向きの情報が少ない ・ 免許返納の高齢者が益々増える、その方々の足の確保、マイクロバスのようなもので乗降場所自由尚かつ安い料金の設定 ・ 身近なところからどうすれば暮らし易くなるか、ご近所（町内）での見守り、手助けをする ・ 教育、学ぶ環境において、幼少時から折りにふれ、自由な発想と思いやりを学ぶ
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内看板も誘導サインも余りにも少ない。景観をそこなわず上手に設置してほしい ・ 道路は今更大変なことであるが、補修した後の見栄えに注意が必要と思う ・ 市内に一つ公園らしい公園がほしい。帰省した家族が喜んで過ごせる空間を望む”

問 22 : 「こころのユニバーサルデザイン」を進めるにあたり、特にどのような配慮が必要と思いますか。教えてください。



【その他の内容】

- ・ 住人に優しくない不便な街、会津若松市
- ・ 昔はあたりまえだった事が、今はそうでなくなっている。困っている人を見たら助けるのはあたりまえだと思っている
- ・ 小中学校のPTA 教養研修会に出前講座をおこなう
- ・ 人はそれぞれちがうものであり、みんなで行うのではなく一人一人が行うと考えること

問 23 : 「こころのユニバーサルデザイン」の行動・実践として、私たち一人ひとりができるものとしてどのようなものがあると思いますか。教えてください。

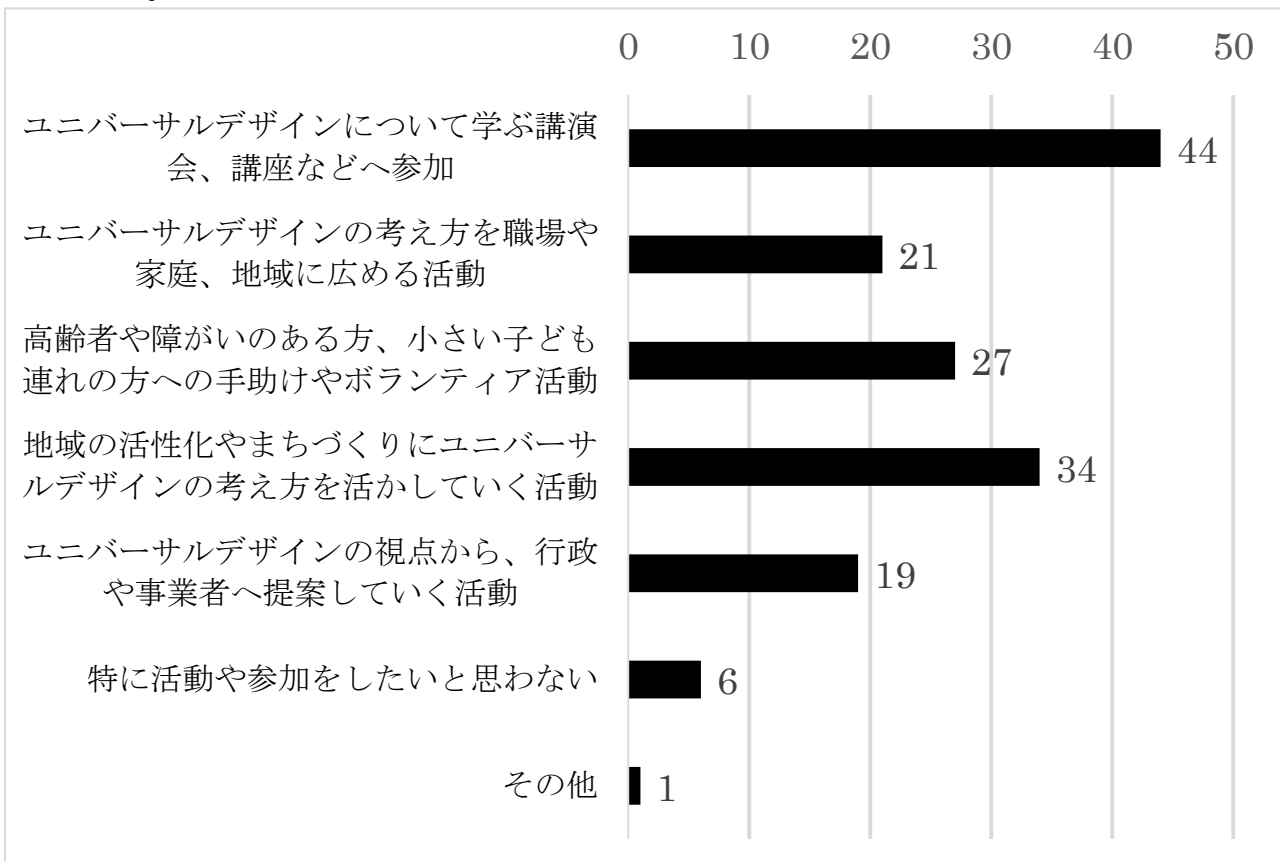
年代	性別	回答
10代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいたら声をかける
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・使用したものや場所は借りる前よりキレイにして返す ・近所の人達に挨拶をする ・困っている人に声をかける” ・笑顔で人に接する ・相手の話に耳を傾ける（受け入れる） ・大らかな心をもつ ・おじぎをする習慣をつける ・自然を大切にす（育てる） ・丁寧な言葉遣い、ゆっくり話す”
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に追われるを少なくし、心のゆとりが欲しいです。必然的に他人を思いやれるようにやれるのではないのでしょうか。 ・困っている人や助けが必要な人を見つけたら勇気をもって声をかける ・一日一善、小さい事の積み重ねから始める。身の回りの節約・節電、ごみの分別化など
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者用駐車場には車を停めない ・マナーを守る、あいさつをする
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・心もハードが悪ければすさむ ・他者へ対する思いやりを持つ事。 ・一人一人が思いやりの心、やさしい気持ちを意識し、それをまわりに発信する
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを最低限守ること ・イベントや学校教育を通じて、困っている人に手を差し伸べるのが当たり前になるような雰囲気づくりをする。 ・他人のことも自分のこととして、手助けしたりする。 ・いろんな人がいるのが社会と認知し、必要な人に必要な支援をあたえるのは当たり前のことと捉え、自然に実践すること。 ・自分も含めて、困っている人に気づくこと ・偏見を持たないこと ・心掛ける事 ・子供のうちからユニバーサルデザインについての授業を行うようにして、ユニバーサルの考え方を教えていくこと。大人である世代の人には、講習会等を通して感心や理解を深めてもらう ・生活する中で、まずは声をかけあう習慣が必要だと思う。困っている人を見かけても、声をかけることができなければ意味がない
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路・歩道を恒常的に塞いでいる状況や無理な右折等をする原因の解消のための対応機関への報告。

年代	性別	回答
		1. 内容により報告先の明確化 2. 上記1で判断できない場合も多いので、総合受付を設ける。極論だが、全てをそこを窓口としても良いのでは。 ・人に迷惑をかけない。人の身になる
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・他者への理解と尊重。 ・押し付けでない声かけ。先入観を持たない。 ・見守り、声かけをして、手助けを必要とされていることを理解し、手助けする。(例えば椅子に座ったりするとき体を支えるなど) ・まずは一人ひとりの意識の向上 ・困っている人がいたら声かけする。 ・困っている人がいたら手をさしのべられるとか、相手の立場になって考える、行動する。(むずかしいとは思いますが) できることから始める。 ・ドアを押さえて出入りする人に配慮するなど
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろからの意識づけが大事だと思う。 ・公共施設のマナーを守った利用方法。 ・観光地会津の一員として、困っている方には積極的に手を貸したいと思います。(観光の方々に対して) 地域の安全のためにお年寄りや子供、困っている方にはできるだけ手助けします ・健常者で障がい者などの区別(差別)する「心のバリアー」をなくす ・障がい者でなく、身体的な自由度が少ない特徴がその人の特徴だと考えることのできる初等教育での学び ・中高齢者が事故や病気になり、障害を有する側の人になる可能性もあることを意識し、そのような状態になった場合を想定した模擬体験を通じた学習 ・地域、社会における「心のユニバーサルデザイン」の構築であるセーフティネットの構築されていると、障害を有する人にとっての「真のユニバーサルデザイン」であると考え ・困っている人がいたら声をかけ、手助けする。たとえば車いすを押す ・マナーやモラルの向上で、歩きながらタバコを吸う人を見かけたら注意する(吸わない環境づくり) ・歩きスマホをやめる ・困っている人を見たら手を差し伸べる ・困っている人を見かけたら声をかける ・しあわせとは何かと考えること ・町内会でのコミュニティー活動を活発にし、助け合いや懇親を深める ・他人に対し、おもいやる心を持つ事、やさしさを持つ事 ・他の人の事を考えて行動をする ・人に対しての気配りを実行する

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの気持ちをもって行動する
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいたら誰もが自然に手をさしのべること ・（お教えする）などとてもおこがましいことですが、個人的な現在の私の立場で申し上げます。ボランティアにもう少し協力できるようにと考えています。研修会等があれば参加し、上記に生かせるようにと思っています。 ・自分だけでなく、回りの人々とのつながり協力で今の生活が成り立っていることを自覚して生活する。 ・小さいことですが、町内の行事、清掃でも元気な人たちが少し多く作業している。 ・明るいあいさつから心が開けてくると思います。子ども達はいいづっこ宣言等を通じて、あいさつをよくかわしますが、いつでもどこでもだれとでもあいさつが明るくできる街づくりがいいと思います ・相手の気持ちをくむこと ・「こころのユニバーサルデザイン」は、理解しやすいようで、具体的にどうしたらよいかわかりにくいものです。行動・実践をする前に、ひと声挨拶をする。「おはようございます。」から、そこから相手が必要としている行動に移していくことができるようになると思います ・男女共同参画 ・子育てしやすい環境づくり ・高齢者も活躍できる社会システムづくり ・近所の一人暮らしの方にこまっているとき、できることは協力したいと思います
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・こころのユニバーサルデザインスキルアップ研修受講 ・市の地機支援ネットワークボランティアに登録し、自分ができる内容のボランティア活動をする。 ・種々な地域の活動に参加しその地域の人とのつながりを持つこと。 ・自分自身は積極的に講習等に参加して理解しないと前に進まないと思う ・弱者（高齢者・子供・障がい者）がわかりやすい案内方法が不足している ・基本として他人が困っているときは、援助の行動を実行すること ・弱者に対しては常に思いやりの気持ちで対応する ・見て見ぬふりの改革・リーダー育成から（特に男性の組長）には、体験研修の必要あり（参加こない、できない地域には女性組長に替えてもらう）
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって行動することだが、心に余裕がないとできない ・ごみひろい（自分の住んでいる地域）、美しい町づくり ・声かけ（朝晩のあいさつ、困っているかなと思ったら、ためらわず声

年代	性別	回答
		をかける) ・町内個々のサロンのような近所の人が気軽に集まれる場を作り、常に情報が共有できる場
80代	男性	・高齢者が困っていたら（例、転んでいる人を見かけたら）声をかけ助けてあげる
80代	女性	・やさしく親切につきあう ・標語・ポスター等の募集（小中学生向きに） ・高齢者からはアイデアをつのる。ともかく市民の注目になる様、アドバルーンを上げることです

問 24：あなたは、ユニバーサルデザインに関する活動で参加したいものがありますか。



【特に活動や参加をしたいと思わない理由】

- ・いくら活動しても目につく改善向上にはなっていない
- ・まずは一箕小学校のトイレの臭いを嗅ぎに行く。そしてそこで毎日生活する。
- ・会社や町内会で忙しいので、退職後に考えたい。
- ・自分の中でそこまで気持が高まっていないので
- ・広めることが目的ではないから
- ・あまり不自由を感じない

【その他の内容】

- ・自宅を開放して、子ども達の読みたい本をならべたり高齢者がつどい交流するようなそんな活動をしたいと考えていましたが、腰痛に悩まされ、母の介護もあり、ボランティア活動ってゆとりがないとできない思う昨今です

問 25 : ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、あなたは会津若松市がどんなまちであってほしいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

年代	性別	回答
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちや身体の状態に合わせて、誰でも便利で豊かな暮らしが出来るまちになって欲しい ・住民や観光で訪れた人が安全で安心して過ごせるようなまち、歩いていて楽しめるようなまちであってほしい ・誰にでも優しいまちであってほしいと思います。思いやりをもち、助け合いのできるまちであってほしいです。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・住民である私たちはもちろん、観光でいらした方々に快適に楽しめる若松市であってほしいです。 ・安心して生活できる、人にやさしい町 ・住んでいる人がずっと住み続けたい、観光や旅行に来た人がまた来たい、そう思えるまち
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい考えや発想をもっと受け入れて住みたい町作りをしてほしい。企業したい若い人を応援してほしい。 ・駅周辺施設が使いやすいようにしてほしい ・障害者も健常者もみんなが住みやすいまち。 ・もう少し便利な町であって欲しい ・バス、電車の便利さや公園を増やして欲しい
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が臭いトイレで授業を受け、そして不衛生な環境で生活。子供達が街に残るわけがない。まずはユニバーサルデザインではなく地域の生活環境改善から。 ・歴史あふれる街並みに、住みやすさ、暮らしやすさが共存する『まち』。 ・国籍、年齢、性別関係なく暮らしやすい街であって欲しいです。 ・子育てにやさしい街づくりをして欲しい。 ・ゆずりあいの心をはぐくむ。会津の運転手は道をゆずらない。救急車来てもとまらない。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・治安の良い街 ・どんどん増える高齢者に住みよいシンプルでわかりやすいまち、かつ、若者や外国の人にも楽しいまち ・子ども、高齢者、体の不自由な人などが不便を感じないように暮らせる町。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・郡山や仙台に行くと、会津よりも車イスで一人で行動しているかたを町中でよく見かける。若松も徐々に進んでいるが、そうあって欲しい。その方が、健常者の意識も向上させる役割を担っている。 ・どんな人にも優しく住みやすい ・「あいづっこ宣言」そのままの町。考え方は古いかもしれないが、会津独特のもの。精神をうけついでほしい。 ・誰にでも親切な町 ・今、自身は何不自由なく暮らすことはできていても年とともに体の機能他が低下したりして、車いすやつえをついて歩く時代が来ると思います。高齢者の人に対して働きやすい町であることを願っています。もう一つは障害をかかえている人にとっても良い町になってほしいと常々感じます。先日出かけた先々では道路の左側で誰にも助けてもらえず一人で車いすを押す人をみかけましたが、交通事故に合わないことを願うしかありませんでした。 ・観光地としてもっとウェルカムな感じを出してほしい。どうしても会津の人は閉鎖的な考えで新参者を受け入れない
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田や中央病院等建替えられた病棟は院内標識を含め、目的施設への導線が非常に解り易くなっている。また、トイレや待合所等も広く車椅子でも使い勝手が良くなっている。個人的には母の認知症治療で某病院に通院しているが、院内の移動やトイレを考えると診察料を払っても個人医院への転院は考えられない。市内の道路・標識・公共施設について健常者であってもなくても解り易いを前提にまちづくりを進めていただきたい。財政問題はあるが新市役所庁舎は栄町周辺住民のみの意見に捉えられず、全世帯がある程度納得できる場所に分散化せず建てられるよう熟慮願いたいと思います。 ・観光客に親切に
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・弱者に思いやりのある街。 ・いくつになっても現役で働いていける社会。その人なりのできる範囲での社会貢献をしやすい社会。 ・外出が困難な方も気軽に外に出て、活動できるまち ・誰もが住みやすい街になってほしい。それにはもっと市民にUDの意識づけ、浸透が必要なのかと思います。 ・住みやすい町、人、環境に優しい町 ・今後若者よりもお年寄りが増えていくだろうと考えられているため、生活していく上で、不便で困ることがなるだけ少なく活気や笑顔があふれる町であってほしいと考える
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的弱者に対してはもちろん、どんな人に対しても住みやすい街であってほしい。 ・高齢者、それも一人暮らしの世帯が増えており、家の中にこもりがち

年代	性別	回答
		<p>になりやすい。高齢者等が参加しやすい施設、イベントなどを増やし、「孤独老人」がいない街になってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高年齢化が、急速に進んでいる中人力に頼る労働を機械に置き換えられるよう体制づくりに力をいれたいと思います。 ・住みやすい町に尽きると思います。具体的にはお年寄、子供、ファミリー世帯にやさしい町、ユニバーサルデザインの点でどうかという点では道路が車中心ではなく、歩行者や自転車にとっても歩き（走り）やすいことが大切。また家の中に閉じこもらないように、地域のイベント情報をこまめに発信（広報）してほしい。近くの花火、祭り、花、イベント、観光、ウォーキング等 ・会津若松市は、全国的に福島県を知らない人でも会津若松市を知っている人は多い。そのイメージは白虎隊、戊辰の役などの歴史、裏磐梯、五色沼および猪苗代湖などの自然・景観の観光地域としてである ・今後の会津若松市は東北における仏教文化、会津武士の精神文化を受け継ぎながらも会津大学を中心とした、産・官・学が事業をコラボする日々新しい物事に挑戦する都市に発展していくことを希望する。 ・年代に関係なく子供からお年寄りまで安全そして安心して楽しく街歩きができる（たとえば道路や公共施設に段差がない、一定の距離ごとにベンチと木陰がある、わかりやすい住宅案内板がある、やさしくわかりやすく案内してもらえ） ・皆にやさしい町、特に弱者にやさしい町になってほしい。観光客にだけ頼らずに生活できるような生活環境の向上に努めて欲しい ・高齢者世帯（65歳以上）へのPC（スマートフォン）普及、出前出張講座 ・がんこなまちであってほしい ・私は他県からきた者ですが、会津の人達の人情の無さを感じた。会津の三泣きが信じられない ・福祉の充実した住みやすい街 ・会津の歴史を生かした街づくり、福島市、郡山市にない会津らしさの中で生活したいと思っております ・安全・安心で暮らせる町で1人1人が思いやりの気持ちを持てるような市であってほしい
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・心作りはとても難しい。ハード面を充実させることで自然にソフト面が活かしていけるようなまち ・あたたかくなつかしい街であってほしい ・城下町（歴史あるまち）はどうしても新しいことを取り入れる（考えも）のがむずかしいところがありますが、常に少しずつでも各自の意識を持っていけるような取組が必要 ・今後、私も高齢になり、色々と不自由な面が出てくると思われます

年代	性別	回答
		<p>が、その時に安全に安心して外出等できる町であってほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくやさしい元気な街。こどもの声がこだまする街。そんなイメージの街ですね。各職場においても、学校においても評価や競争が中心な世の中になって行くようでこわいです。やさしくて温かい社会は自分がそのような環境の中で生まれ良い上司に恵まれ、愛される家族の中にいたからできるのかなあとと思います。しかし、相手を思いやったり、やさしく元気に過ごすには、雇用はもっとも重要かもしれません。でも心は明るくやさしくあってほしいと思っています。 ・あいづっこ宣言やその他の取組のおかげで、市の方々は比較的ですがおだやかで優しい方々だと思います。そんな方が嫌な出来事や何かの不備で不満が増してしまわないような市であってほしいと思います ・すべての市民が暮らしやすいまちになって欲しいと思います ・文化水準をあげる ・弱者（子ども、障がい者、高齢者）にやさしいまちづくり ・積極的な情報提供 ・地場産業への支援
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が定着できるような、若い人口が増える町になってほしい。 ・行政だけに頼らず、地域別に、全員参加で子供、高齢者、体調不良の方などを支え合う街になってほしい。 ・高齢者、しょうがい者、子ども達を含めて全ての人にやさしい、住みやすい街にしてほしい ・市内ではデパートがなく多くの若い人達は郡山等に流れているのが現状であり、今後誘致の計画はないのでしょうか。神明通りにおいても人通りも少なくさびしい限りです。 ・市民全体が潤うことで市政もよくなり、また、高齢になっても安心して生活ができるようなまちでなければならない ・高齢者が住んで良かった思いやりのある町 ・もっと道路の破壊されている箇所を点検してほしい。早く修理しないとバリアフリーの障がいとなってしまう ・老若男女誰でもが安全安心に暮らせるまち（特に弱者にやさしいまち） ・広域すぎる、一人暮らしの人々に、それぞれの工夫、特設のシェアハウスを作る（見合った場所の情報発進）シェアハウスの利点・欠点を広報で知らせる（インフラ整備にお金がいくらあってもたらないから）
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・活気があり思いやりのある、おもてなしのできる会津若松市になってほしいと思う。（若者が外に出ていかない様に） ・温故知新。古くからの慣習や言いつたえ等の良いところを守っていく

年代	性別	回答
		<p>こと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい町 ・高齢者、障がい者が安心して暮らせる町 ・助け合って生きていける町 ・自然がある町” ・自分も身障者（両下肢不自由）であるため強く感じるのは、公共施設の駐車場の不備です。特に文化センターは最悪です。又、商業施設の身障者用駐車場は数も少ないうえにただ一応設置した、という感じで非常に使いにくい。他所から観光で来られた方も駐車については、料金が高い、場所がわかりづらいと大変不評です
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・街中花いっぱい笑顔で接していきたい ・ユニバーサルデザインやバリアフリーの実践例などもっともっとPRをしてください。宣伝が足りません。遠慮しているときではないと思います。積極的にPRをお願いいたします

5. その他

問 26：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら教えてください。

年代	性別	回答
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・回答項目がとても具体的に作られていて、このアンケート作るにあたっての強い意欲を感じられました。何気なく参加したアンケートモニターですが、自分の住む町の行政の方の取り組みや考えを直接知れる大変良い機会に恵まれたと思います。ぜひ、ユニバーサルデザインの推進が増々盛んになることを切に願います。私も一市民として何かのお役に立てればご協力させていただきますので、今後も行政の皆さんのご活躍に期待しております。ありがとうございました。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算ではあるかと存じますが、優先度を決めて効率的により良い若松市にしてくださるようお願いいたします。 ・去年も市政モニターをやりましたが、市民からの意見を活用して実行したものは何かありますか？PLAN DO SEE 行政は予算を使い切るのが目標でいつもやりっぱなしのイメージがあります。アンケート集計した結果だけでなく、実際に活用に至った意見や内容も知りたい
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・大人はユニバーサルデザインと聞いても、勉強したこともない、聞いたことない方もいると思うのでまずみんなに言葉を広めて知っていただくことが必要じゃないか。 ・実践して欲しい
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインではなく小学校のトイレ様式化 ・民間の施設に積極的に取り組むように指導してほしい。または市内を運転していても、無謀な運転者や煽ったりするたくさんいるのでモラルの向上が大切だと思います。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に子供が生まれて小さい子供と一緒にまちにでるようになると、今まで意識しなかった心遣いや思いやりに触れる機会が多くなりました。赤ちゃん連れ、お年寄り、日本語が理解できない人たちなどにとっても魅力的なまちでありつづけますように。 ・どこでも赤ちゃんのおむつ替え、授乳ができる「赤ちゃんの駅」があったら安心です。会津は車をつかう人が多いので不要なのでしょうか
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・目先のことはともかく、小・中・高でも学校教育の中でユニバーサルデザインの理解、推進方法の事例等を周知させて頂きたい。年寄りは提案に対しての可・不可しか言えないのでは？ ・道路、一方通行が他所者にはわかりにくいので、道路に矢印を書くなりよくわかるよう
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・会津の人は優しいので、考え方を理解することができると思う。だから、公的なサービスに力を入れると良いと思う。

年代	性別	回答
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザイン」の意味は分かるが、日本語で分かりやすい表記であれば、もっとみんな（子供たちや高齢者にも）の意識が変わっていくのではないか。 ・本市は観光地であり、外国人の居住も多いので、観光案内板や標識の拡充、充実、英語併記が必須と思われます。また地元の間人も意外に知らない埋もれた歴史もありますので、発掘してわかりやすく掲示すれば立ち止まる人も増え、ひいては観光にもプラスかと思われます ・高齢化が進展するなか、厳しい財政のもと、介護福祉などの社会保障費の増大、豪雨・豪雪等の増大する自然災害、それを防御する社会インフラの老朽化などの多数の課題がある。このような状況に対し、行政側では建築・土木・教育・福祉などの専門職員を増やすことはできないのが現状である。そこで、ユニバーサルデザインだけでなく、都市の環境空間、防災空間、にぎわい空間の創出するデザインに対し、経験・資格を有するシルバー専門集団（ボランティアやNPO）を組織・活用するのも一案であると考えます。※自分の住む会津若松市へ協力するシルバー人材（潜在的）は多いと考えられる。 ・繰り返し市民に対してユニバーサルデザインについてわかってもらう取り組みをする。町内ごと各組織ごとに講習会を開催し教育を充実させる。 ・やるのであれば理想とするまちづくりになると思うが、全てを網羅する事は出来ないと思う。市としてどうしたいのかを出さないで形がみえてこない。市民の一人々の意見を聞いても最終的には市としての結論が必要と思う ・公共トイレの充実、コンビニ等のトイレ共有化の拡大 ・行政マンは自信を持ってやりなさい ・市政だより等でもっと広報に力を入れてください ・ユニバーサルデザインという言葉を知っている市民がどのくらい居るかおそらくあんまり知っている人が居ないのではと思います。（推測）ユニバーサルデザインの推進に関しては市民が一丸にならないと見直し改善が厳しいと思う。その為には市民にユニバーサルデザインという言葉を知ってもらうのが一番の重要課題だと思う
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・問13で回答5の【ゆっくりていねいに】とあったが待ち時間が長くなる可能性がある。お互い様の気持ちは大切だが急ぎで手続きに来ている人もいる。平等なサービスが受けられるよう増員するな担当外でも手透きの人がサポートする体制作りをして欲しい ・（意見・提案でなくてすみませんが）今回のアンケートに関しての感想を記します。実は誠に恥ずかしいことですが、今回の件で初めて「ゆにばくん」のこと、ロナルド・メイス氏のこと、ユニバーサルデザイン7つの原則のこと、etc、知りました。「思い込み」のこわさと滑稽

年代	性別	回答
		<p>さも知りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、車で遠くても買い物に行けますが、車が利用できなくなった場合、バス1本で行ける中心市街地（神明通り）にデパートや大型のショッピングセンターがあると、利便性だけでなく、楽しく生活できると思います。 ・心あたたまる事例がさまざまな機会を通じて発信されている。広報はホットなニュースをどんどん流してほしいですね。またユニバーサルデザインを実践されている事業等の紹介もお願いします。せめて身近な実践として、公民館や市の窓口等ではやさしく明るくていねいにをモットーにしてほしい。職場が明るく楽しくあってほしいと思います。上司が係員を大切にしてくれている職場がいいですね。 ・市民の意見や気持ちは十人十色です。気持ちをくんでも必ず正しいとは限りません。すべての市民に公正で公平なユニバーサルデザインをよくよく考えて進めてください。この市がどんな市なのか、よくよく考えてください。大事なものは具現化です。 ・策定から10年が経過していますが、市民の関心は深まったでしょうか。市では様々な取組を行っていると思いますので、その取組をわかりやすいように一般市民に知らせてほしいと思います ・歩道と車道の境にあるポール（たとえば市役所本庁舎東側）が、これってユニバーサルデザインなの？と思うことがある ・ユニバーサルデザインの推進のためには、ひとりひとりの意識が大事であると思うので、様々な面から行政のアクションをお願いしたい。ご活動も毎年同じ取り組みの繰り返しでなく、新たな視点を入れた取り組みを市をお願いしたい ・今のままで良いと思います
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在勉強中 ・門11の提案（市役所が主導で「ボランティア活動等への参加意識の醸成や参加機会の拡大・拡充を図ること」、「町内会などの地域団体の活動や、地域交流活動への支援を行うこと」などについて、区長会、社協、老人会、ボランティア団体、環境団体などで組織を作り、総合的に具体的に将来のビジョンを検討し、出来ることから実践し、住みよい、住みたい会津若松市の街づくりを推進する。）をご検討いただき、市役所全部門が、全市民を巻き込んで、住みよい・住んでよかった会津若松市にしていけたら幸いです。 ・会津若松市、社会福祉協議会、包括支援センター、民生児童委員、町内会の縦の組織の活動は皆さん頑張っておられるが、町内会を最小単位として、もう少し横のつながりを重視していけば各担当者さんの仕事量軽減にもつながるし、もっといい方向にゆくのではないかと思います。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・自販機のコイン投入口大きく又商品の選択ボタンが高い位置、低い位置の両方に設置 ・防災マップや避難所の指定の見直し。公園の整備を進めてほしい ・大町通りがきれいになり大変嬉しいですが、七日町通りは狭く、きれいにしてもらいたいと思います ・若者にも高齢者にも理解できるようにして周知し、推進の協力を呼びかける ・年小の頃にボランティア活動参加時間を増す。災害地へ出向く機構を作り、現地体験の機会を年中の時までに参加する（特に大人の協力する人が少ないから）
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心して暮らして行ける街づくりを願う。一人ひとりが思いやりのある心をもって欲しい。 ・広く多数のアンケートの実施（モニターだけでなく、小学校高学年・中学生の視点）問10、7 ・取り組む人の人選が一部の人に集中している感がある。もっと窓口を広げ、働く世代の男女（現職の人）頭の柔らかい中高生の意見、入院中の人、施設入所者、専業主婦など、きめ細かい意見を集めると良い。外国人や県外移住者の意見も新しい考え方が入ると思う
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなまちづくりには不可欠な問題です。落ち着いた城下町のたたくまいにユニバーサルデザインがとり入れられていて、文化的にも教養的にも住みよいスマートシティを目指したいものです。行政の旗振りに大いなる期待を申し上げ筆をおきます

以上。